

# 平成26年度 予算(案)の概要

地域力で総合防災力を強化、  
元気で安心な国際都市をめざします



平成26年2月12日  
大田区

## 平成 26 年度予算（案）の編成にあたって

大田区の平成 26 年度予算は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、景気回復にやや明るさが見えてきたなかでの編成となりました。

一方、税制改正により、消費税の増税とあわせて、法人住民税が一部国税化されることになり、将来の歳入に不安を残すことになりました。

こうした不透明な状況の中でも、これまでの行財政構造の質的転換に向けた取り組みを継続し、すべての施策の見直し・再構築に取り組み、総合防災力の強化、待機児童対策の充実、公共施設の維持・更新、未来に向けたまちづくり、社会保障関係経費の増加などの課題に、的確に対応していくという強い決意で予算編成を行いました。

区は、大田区基本構想で区の将来像として掲げた「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向け、平成 21 年 3 月に、区の基本計画である「おおた未来プラン 10 年」を策定し、着実にその歩みを進めてまいりました。

平成 26 年度は、「おおた未来プラン 10 年」後期 5 年スタートの年です。引き続き区の将来を見据えた施策を着実かつ的確に推進してまいります。

平成 26 年度の一般会計予算規模は、2,420 億 2 千万円余で、前年度比 98 億 5 千万円余、4.2%の増額予算としました。



本予算のスローガンを「地域力で総合防災力を強化、元気で安心な国際都市をめざします」と掲げ、地域力を活かし、国際都市 おおたの実現に向けて、多様化する区政課題を、区民の皆様と連携・協働して解決し、安心と豊かさを感じられる地域社会の実現のため、力強く区政運営を進めてまいります。

平成 26 年 2 月

大田区長
















松原 忠義

## 目 次








1	平成 26 年度予算編成の基本的な考え方	8
2	財政規模	9
3	歳入の状況（一般会計）	10
4 - 1	歳出の状況（一般会計 性質別）	11
4 - 2	歳出の状況（一般会計 目的別）	12
5	特別会計予算の特徴	13
6	基金の状況	14
7	社会保障関係経費の増大と消費税率引上げ分の活用	15
8	緊急防災・減災事業のための特別区民税均等割の引き上げ	16
9	大田区の経営改善	17
10	主な組織の改正について	18
	平成 26 年度 一般会計予算（案）集計表	19
(1)	歳入（款別）	19
(2)	歳出（款別）	20
11	事業説明資料	21
(1)	安全・安心	
1	総合防災力強化事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span> 	22
2	児童館・福祉避難所等における備蓄物品等の整備 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span>	24
3	橋梁の耐震性の向上 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span>	26
4	（仮称）大田区客引き・客待ち防止条例制定による 環境浄化の取組み <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span> 	28
5	耐震診断・改修助成	29
6	水門・河川監視カメラの設置 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span>	30

7	都市基盤施設の維持・更新	新規	.....	31	
8	不燃化特区制度を活用した取組み	☺☺☺	.....	33	
9	大田区被災地支援ボランティア調整センターの運営	☺☺☺	.....	34	
10	災害時におけるペットの保護対策の啓発活動	新規	.....	35	
11	街路灯整備による生活安全の確保（街路灯のLED化）	新規	.....	36	
12	区民が防災を身近に感じる日用品のPR促進	新規 ☺☺☺	.....	37	
13	中・高層住宅向け防災パンフレットの作成・配布	新規 ☺☺☺	.....	38	
14	踏切における交通安全の推進	新規	.....	39	
 (2) 魅力あるまちづくり					
1	特区を活用した成長戦略拠点「空港跡地」の整備	新規 士	.....	40	
2	新空港線の整備促進事業	☺☺☺ 士	.....	41	
3	京急関連駅周辺のまちづくり	☺☺☺ 士	.....	42	
4	羽田地区公共施設の最適配置・整備	新規 ☺☺☺	.....	43	
5	蒲田駅周辺地区の整備	☺☺☺ 士	.....	44	
6	大森駅周辺地区の整備	☺☺☺ 士	.....	45	
7	自転車等駐車場の整備	ーストップ！放置自転車ー	新規	.....	46
8	海辺の親水ネットワークの整備	新規	.....	47	
9	公園の整備	新規 ☺☺☺	.....	48	
10	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等詳細調査	士	.....	49	
11	中央防波堤埋立地の活用等にかかる調査	新規 士	.....	50	
12	第四次都市計画道路優先整備路線事業化計画策定基礎調査	新規	.....	51	
13	大森駅東口エレベーター設置調査	新規	.....	52	
14	地域力を活かした公園施設の利活用の推進	☺☺☺	.....	53	
15	スポーツ施設の整備・充実	新規 士	.....	54	

(3) 観光・文化

- 1 鳳凰閣（旧清明文庫）－(仮称)勝海舟記念館の整備等 新規  ……55
- 2 洗足池公園の整備 新規  ……56
- 3 「花子とアン」(村岡花子)放映に伴う大田区の文化・観光魅力の発信と  
賑わいの創出 新規   ……57
- 4 特別展「あの頃、馬込は笑いに充ちていた－馬込文士村」(仮題)  
の開催 新規 ……58
- 5 民間連携による観光サポーター育成事業 新規   ……59
- 6 インバウンド誘致の促進事業 新規   ……60
- 7 川崎市との産業連携に関する  
基本協定締結に伴う連携事業の開催等 新規  ……61
- 8 国際都市事業の推進 新規   ……62
- 9 観光マーケティング調査 新規   ……63
- 10 大田区観光案内サイン推進事業 新規   ……63
- 11 散策路サインの整備・拡充 新規 ……64

(4) 産業・環境

- 1 区内製造業と商店街の実態調査 新規 ……65
- 2 区内企業の海外取引拡大支援   ……67
- 3 チャレンジ企業応援資金の創設 新規 ……69
- 4 商店街活性化のための新事業 新規  ……70
- 5 医工連携支援事業－コンサルティング業務委託   ……71
- 6 有用金属の資源化の取組み ……72
- 7 18色の緑づくり支援  ……73
- 8 呑川水質浄化対策の推進 新規 ……74
- 9 多摩川ふれあいの場の整備 新規  ……75

10 区内工場集積の維持・強化のための		
工場立地・操業環境整備助成事業	.....	76
(5) 子育て・教育		
1 待機児童対策の拡充	新規	.....77
2 国際理解教育の推進	新規 地域力 国際都市	.....79
3 大田区立伊豆高原学園の改築	新規 地域力	.....80
4 (仮称)フレンドリー嶺町の新規開設	新規 地域力	.....81
5 計画的な小中学校校舎改築		.....82
6 食物アレルギー対応用の食器およびトレイの購入	新規	.....83
7 スクールソーシャルワーカーの雇用	新規 地域力	.....84
8 体力向上の推進	新規 地域力	.....85
(6) 健康・福祉・医療		
1 (仮称)障がい者総合サポートセンターの開設	地域力	.....86
2 特別養護老人ホームの整備支援	新規	.....87
3 老人保健施設の整備支援	新規	.....88
4 介護予防事業の充実	新規 地域力	.....89
5 熱中症予防事業	地域力	.....90
6 就労意欲喚起事業	新規	.....92
7 スポーツ健康都市宣言記念事業		
(仮称)「おおたスポーツ健康フェスタ」の開催	新規 地域力 国際都市	.....93
8 在宅医療連携推進事業		.....94
9 糞谷駅前地区再開発ビルの保留床の購入	新規 地域力	.....95

※ 事業説明資料については、表示単位未満を四捨五入しています。  
 ※ 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により計算しています。  
 ※ 端数処理の関係で表の合計が合わない場合があります。  
 ※ 地域力に関する事業には、このマークを表示しています。  
 ※ 国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。  
 ※ 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。  
 ※ 概要 (A3 版) の事業名は、一部補記しているものがあります。

〈平成26年度予算(案)の概要〉

★新規事業／☆継続事業／〇〇〇地域力に関する事業／✦国際都市をめざす事業

地域力で総合防災力を強化、元気で安心な国際都市をめざします

平成26年度予算は、基本計画「おおた未来プラン10年」後期5年のスタート年として、また、2020年に控えた東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国際都市のさらなる推進と地域の活性化を視野に入れ、以下の方針に基づき、編成しました。

- 1 地域力で総合防災力を強化し、安全・安心なまちづくりを積極的に推進
- 2 区民生活・区内経済に不可欠な事業を着実かつ的確に実施し、暮らしやすいまちを実現
- 3 未来プラン前期の成果を踏まえ、「おおた未来プラン10年」後期5年の各事業を着実に推進

地域力を結集してまちの総合防災力を高めます  
—安全・安心—

- ★総合防災力強化事業(2億7,264万円) 〇〇〇
- ★児童館・福祉避難所等における備蓄物品等の整備(4,031万円)
- ★橋梁の耐震性の向上(13億5,747万円)
- ★(仮称)大田区客引き・客待ち防止条例制定による環境浄化の取組み(2,324万円) 〇〇〇
- ☆耐震診断・改修助成(住宅、マンション等)(11億5,739万円)
- ★水門・河川監視カメラの設置(1,893万円) 新型のD級ポンプ⇒105台を配備(取扱いが簡便で初期消火力向上)
- ★都市基盤施設の維持・更新(1億2,115万円)
- ☆不燃化特区制度を活用した取組み(4,204万円) 〇〇〇
- ☆大田区被災地支援ボランティア調整センターの運営(5,189万円) 〇〇〇
- ★災害時におけるペットの保護対策の啓発活動(35万円)
- ★街路灯整備による生活安全の確保(街路灯のLED化)(5億3,821万円)



大田区ならではの魅力で  
にぎわいのまちを創造します  
—観光・文化—

- ★鳳凰閣(旧清明文庫) —(仮称)勝海舟記念館の整備等(1,404万円) 〇〇〇
- ★洗足池公園の整備(6,152万円) 〇〇〇
- ★「花子とアン」(村岡花子)放映に伴う大田区の文化・観光魅力の発信と賑わいの創出(686万円) 〇〇〇 ✦
- ★特別展「あの頃、馬込は笑いに充ちていた—馬込文士村」(仮題)の開催(462万円)



- ★民間連携による観光サポーター育成事業(270万円) 〇〇〇 ✦
- ★インバウンド(訪日外国人)誘致の促進事業(371万円) 〇〇〇 ✦
- ★川崎市との産業連携に関する基本協定締結に伴う連携事業の開催等(648万円) 〇〇〇
- ★国際都市事業の推進—(仮称)「国際都市おおた」シンポジウム開催等(298万円) 〇〇〇 ✦

洗足池公園・池月橋の架音

元気な産業と環境への優しさで  
世界にはばたくまちをめざします  
—産業・環境—

- ★区内製造業と商店街の実態調査(8,968万円)
- ☆区内企業の海外取引拡大支援(3,621万円) 〇〇〇 ✦
- ★チャレンジ企業応援資金の創設(1,056万円)
- ★商店街活性化のための新事業(若手商人支援事業、買い物弱者支援事業等)(1,335万円) 〇〇〇
- ☆医工連携支援事業—コンサルティング業務委託(486万円) 〇〇〇 ✦
- ☆有用金属の資源化の取組み(1,239万円)
- ☆18色の緑づくり支援(地域の花の種配付・育成支援)(640万円) 〇〇〇
- ★呑川水質浄化対策の推進(5,288万円)
- ★多摩川ふれあいの場の整備(661万円) 〇〇〇



平成25年11月ドイツで開催  
国際医療機器展示会における  
大田区ブース

一般会計総額  
**2,420億2,235万円**  
(平成25年度比 4.2%増)

地域力

～区民一人ひとりの力が源～

自助＋共助＋公助  
(自分で) (支えあい) (区役所と)

- 1 様々な団体とつながり、支えあう
- 2 区との連携、協働を強化する
- 3 様々な課題の解決をめぐす(防災、防犯、福祉、教育、まちづくり等)



西蒲田地区における  
地域パトロールの様子

魅力ある地域をつくる

国際都市

～未来へ躍動する国際都市 おおた～

- 1 外国人にとって魅力あるまち
- 2 外国人が安心して暮らし(共生)、訪れ、回遊できるまち
- 3 平和で、おもてなしの心に満ちた親しまれるまち
- 4 羽田空港の国際化により区内産業を活かしたビジネス展開で、にぎわいのあるまち



撮影場所：城南島

国際交流拠点都市

子どもたちの健やかな成長を支える  
まちづくりを進めます  
—子育て・教育—

- ★待機児童対策の拡充(区立保育園改築、民間保育所への開設支援等による保育サービス定員増)(26億7,103万円)
- ★国際理解教育の推進(全区立学校に「英語カフェ」設置等)(6,883万円) 〇〇〇 ✦
- ★大田区立伊豆高原学園の改築(24億7,869万円) 〇〇〇
- ★(仮称)フレンドリー嶺町の新規開設(377万円) 〇〇〇
- ☆計画的な小中学校校舎改築(14億956万円)
- ★食物アレルギー対応の食器およびトレイの購入(542万円)
- ★スクールソーシャルワーカーの雇用(807万円) 〇〇〇
- ★体力向上の推進(全小中学校で「駅伝大会」実施等)(239万円) 〇〇〇



海外大使の小学校訪問

快適で安らぎにあふれる暮らしやすいまちをめざします  
—魅力あるまちづくり—

- ★特区を活用した成長戦略拠点「空港跡地」の整備(8,248万円) ✦
- ☆新空港線の整備促進事業(5億1,695万円) 〇〇〇 ✦
- ★京急関連駅周辺のまちづくり(67億8,493万円) 〇〇〇 ✦
- ★羽田地区公共施設(特別出張所、保育園、文化センター等)の最適配置・整備(6,139万円) 〇〇〇
- ☆蒲田駅周辺地区の整備(6,480万円) 〇〇〇 ✦
- ☆大森駅周辺地区の整備(3,394万円) 〇〇〇 ✦
- ★自転車等駐車場の整備—ストップ! 放置自転車—(4億6,279万円)
- ★海辺の親水ネットワークの整備(2,868万円)
- ★公園の整備(鶴の木松山公園、田園調布せせらぎ公園等)(1億9,882万円) 〇〇〇
- ☆空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等詳細調査(1,088万円) ✦

新空港線の整備



地域力を活かして誰もが元気で輝く  
まちをめざします  
—健康・福祉・医療—

- ☆(仮称)障がい者総合サポートセンターの開設(10億2,899万円) 〇〇〇
- ★特別養護老人ホームの整備支援(1億8,255万円)
- ★老人保健施設の整備支援(1,290万円)
- ★介護予防事業の充実(377万円) 〇〇〇
- ☆熱中症予防事業(274万円) 〇〇〇
- ★就労意欲喚起事業(生活保護受給者自立支援)(5,082万円)
- ★スポーツ健康都市宣言記念事業(仮称)「おおたスポーツ健康フェスタ」の開催(454万円) 〇〇〇 ✦
- ☆在宅医療連携推進事業(1,000万円)

(仮称)障がい者総合サポートセンター  
完成予想図 平成27年開設予定



# 1 平成 26 年度予算編成の基本的な考え方

## 【編成方針】

平成 26 年度予算は、

### 「地域力で総合防災力を強化、元気で安心な国際都市をめざします」

をスローガンに掲げ、基本計画「おおた未来プラン 10 年」後期 5 年スタートの年として、また、2020 年に控えた東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国際都市の更なる推進と地域の活性化を視野に入れ、次の視点を基本に編成しました。

#### 視点

##### ～ 区民の安全・安心の確保と、未来に向けた区政の着実な前進 ～

- 総合防災力の強化や学校・庁舎などの公共施設、道路・橋梁などの都市基盤施設の維持・更新を計画的に進め、区民の安全と安心を確保する。
- 新たな行政需要に対応する施策や、「おおた未来プラン 10 年(後期)」の推進を図り、元気で安心な国際都市の実現に向け、区の将来を見据えた施策を着実かつ的確に実行していく。
- 地域の課題解決に向け、地域力を活かし、区民と行政との連携・協働をさらに推進する。

##### ～ 財政の健全性の堅持 ～

- 区民生活・区内経済に不可欠な事業や区の未来へ向けた施策を計画的に推進するため、区政の展望を区民に示す施策の選択と集中に努め、効率的・効果的な区政運営を実現する。
- 健全財政を堅持し、区民に信頼される安定したサービスの提供、効率的な区政の運営が進められるよう、徹底した行財政構造の質的転換に向けた取り組みを進める。



## 2 財政規模

- 一般会計の予算規模は、4.2%増の2,420億円となりました。区民の安全・安心や未来に向けたまちづくりなどのため、投資的経費が増額となる一方、徹底した内部努力により、人件費や、事務経費などを精査しました。
- 歳入のうち、5割以上を占める特別区税と特別区交付金の合計は、5.2%増の1,319億円と、増収を見込みました。
- 歳出のうち、「おおた未来プラン10年（後期）」に掲げた施策を着実に推進するため、前年度比108.9%増の501億円を計上しました。予算規模2,420億円の約21%を占める結果となっています。

### 【一般会計】

(単位：億円、%)

区 分	26年度	25年度当初	増減額	増減率
歳 入	2,420	2,322	99	4.2
うち特別区税+特別区交付金	1,319	1,253	66	5.2
歳 出	2,420	2,322	99	4.2
うち計画事業予算	501	240	261	108.9

### 【全会計】

(単位：千円、%)

区 分	26年度	25年度当初	増減額	増減率
一般会計	242,022,354	232,170,676	9,851,678	4.2
特別会計	134,290,080	132,004,065	2,286,015	1.7
国民健康保険事業	73,644,428	73,811,236	△166,808	△0.2
後期高齢者医療	14,214,042	13,686,592	527,450	3.9
介護保険	46,431,610	44,506,237	1,925,373	4.3
全会計合計	376,312,434	364,174,741	12,137,693	3.3

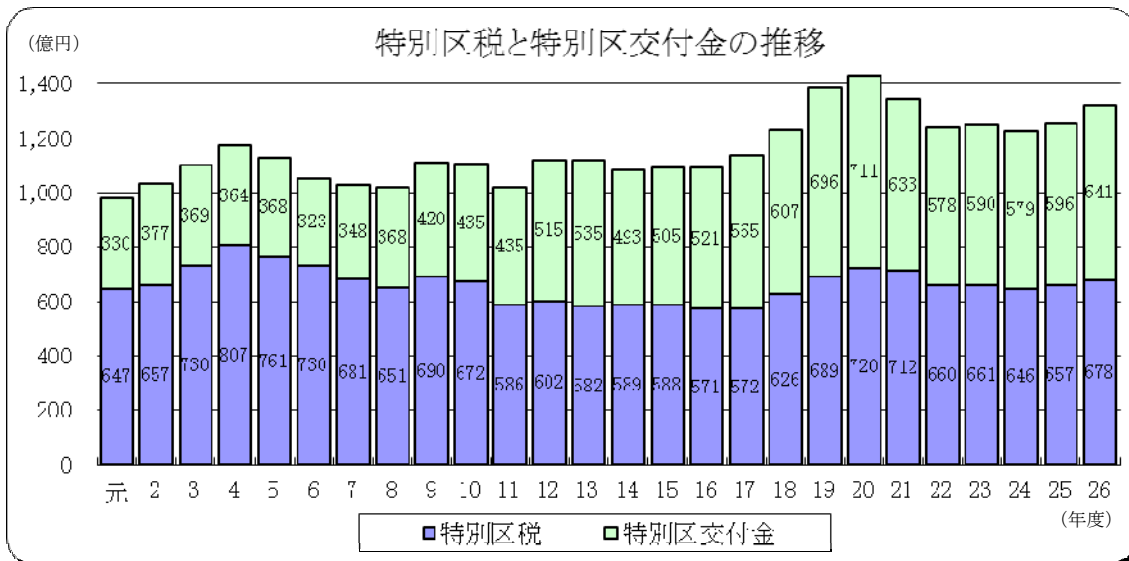
### 3 歳入の状況（一般会計）

- 特別区税は、特別区民税、特別区たばこ税の増収を見込んだ結果、3.2%増の678億円となりました。
- 特別区交付金（都区財政調整交付金）は、企業収益が引き続き堅調に推移していることなどにより7.5%増の641億円となりました。ただし、景気変動の影響を受けやすい財源であることに加え、平成27年度以降は税制改正による大幅な減収が見込まれています。
- 特別区債は、橋梁の架替・耐震補強整備、市街地再開発事業などに活用するため60億円を計上しました。
- その他のうち、地方消費税交付金が、地方消費税率の引き上げの影響などから、19億円増の101億円となりました。

【歳入の状況】

（単位：億円、%）

区 分	26年度	25年度当初	増減額	増減率
特別区税	678	657	21	3.2
特別区交付金	641	596	45	7.5
使用料及び手数料	70	68	2	2.6
国庫支出金	443	439	4	0.9
都支出金	128	132	△4	△2.7
特別区債	60	60	0	0.0
その他	400	369	31	8.3
合計	2,420	2,322	99	4.2



※各年度とも当初予算額です。

## 4-1 歳出の状況（一般会計 性質別）

- 義務的経費は、2億円の減となっています。
  - 人件費は、職員定数削減や給料の減額改定などにより全体で0.8%、4億円の減となっています。
  - 扶助費は、待機児童対策に係る経費、障害者自立支援給付費の増などにより1.0%、7億円の増となっています。
  - 公債費は、主に償還期限を迎える特別区債償還のための経費で、7.3%、6億円の減となっています。
- 投資的経費は、57億円の増となっています。
 

安全で安心して暮らせるまちをつくるため、学校や庁舎など公共施設の改築や、橋梁の架替・耐震補強整備など都市基盤施設の維持・更新に取り組みます。

魅力と個性あふれるまちをつくるため、京急関連駅周辺のまちづくり事業など地域拠点の整備を進めます。
- その他の経費は、44億円の増となっています。
 

総合防災力の強化、乳幼児予防接種経費などが増となっています。このほか、行政運営にかかる事務経費、公共施設や公園などの運営費、維持管理費などを計上しています。

【性質別歳出の状況】

(単位：億円、%)

区 分		26年度	25年度当初	増減額	増減率
義務的経費		1,240	1,242	△2	△0.1
	人件費	448	451	△4	△0.8
	扶助費	720	712	7	1.0
	公債費	73	79	△6	△7.3
投資的経費		304	247	57	22.9
その他の経費		876	832	44	5.3
	他会計繰出金	218	221	△3	△1.2
	他会計繰出金以外	657	611	46	7.6
合 計		2,420	2,322	99	4.2

## 4-2 歳出の状況（一般会計 目的別）

- 地域の振興の予算は、地域力を活かし誰もが暮らしやすいまちをつくるための予算として、区民活動・地域活動を支援する経費、大田区総合防災力強化の経費など 62 億円を計上しました。
- 観光と国際都市の予算は、大田区の魅力を発信する観光まちづくり、東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界にひらかれた「国際都市おおた」を推進する予算として 18 億円を計上しました。
- 福祉と保健の予算は、待機児童対策に係る経費や障害者自立支援給付費の増などにより 33 億円の増となっています。平成 27 年 3 月に開所予定の（仮称）障がい者総合サポートセンターの建設経費など総額で 1,341 億円を計上しました。
- まちづくりの予算は、道路整備や橋梁の架替・耐震補強整備など災害に強いまちづくり、市街地再開発事業などを進めるため 312 億円を計上しました。
- 教育とスポーツの予算は、小・中学校の改築工事費、平成 27 年 4 月オープン予定の伊豆高原学園の整備費などにより、14.5%、30 億円の増となっています。

### 【目的別歳出の状況】

（単位：億円、%）

区 分	26 年度		25 年度当初		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
地 域 の 振 興	62	2.6	66	2.8	△4	△5.9
観 光 と 国 際 都 市	18	0.7	17	0.8	0	2.2
福 祉 と 保 健	1,341	55.4	1,307	56.3	33	2.5
産 業	34	1.4	33	1.4	1	1.8
ま ち づ く り	312	12.9	282	12.1	30	10.6
環 境 と 清 掃	95	3.9	95	4.1	△0	△0.3
教 育 と ス ポ ー ツ	238	9.8	208	9.0	30	14.5
区 政 の 運 営	248	10.2	234	10.1	14	6.0
区 債 の 償 還	73	3.0	79	3.4	△6	△7.3
合 計	2,420	100.0	2,322	100.0	99	4.2

## 5 特別会計予算の特徴

### ○ 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業は、国民健康保険加入者から保険料を徴収し、医療費や出産育児一時金などの支払い、後期高齢者支援金や介護納付金などの納付等を行っています。生活習慣病の予防や早期発見につながるよう、特定健康診査及び特定保健指導について、より受診しやすい工夫や一層のPRに努めています。被保険者数の減に伴う保険給付費の減などにより、0.2%減となっています。

### ○ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、すべての区市町村が加入する後期高齢者医療広域連合が都道府県ごとに設置され、保険者として運営する75歳以上の高齢者を対象とした医療制度です。区は、保険料の徴収や各種申請の受付などの窓口業務を行っています。被保険者数の増により保険料等負担金などの広域連合納付金が増え、3.9%増となっています。

### ○ 介護保険特別会計

介護保険料の徴収や介護報酬の支払いを行うほか、介護予防事業にも積極的に取り組んでいます。65歳以上の高齢者人口や要介護認定者数の増により保険給付費が増え、4.3%増となっています。

【特別会計】

(単位：億円、%)

区 分	26年度	25年度当初	増減額	増減率
国民健康保険事業	736	738	△2	△0.2
後期高齢者医療	142	137	5	3.9
介護保険	464	445	19	4.3
合 計	1,343	1,320	23	1.7

## 6 基金の状況

基金は、「年度間に差のある税収等の影響を最小限に抑えつつ、質の高い行政サービスを安定的に提供する」という重要な財源調整機能があります。平成26年度末の主な積立基金現在高見込みの合計は902億円で、同時点の区債現在高見込み464億円を大きく上回っており、区財政は健全性を維持しているといえます。

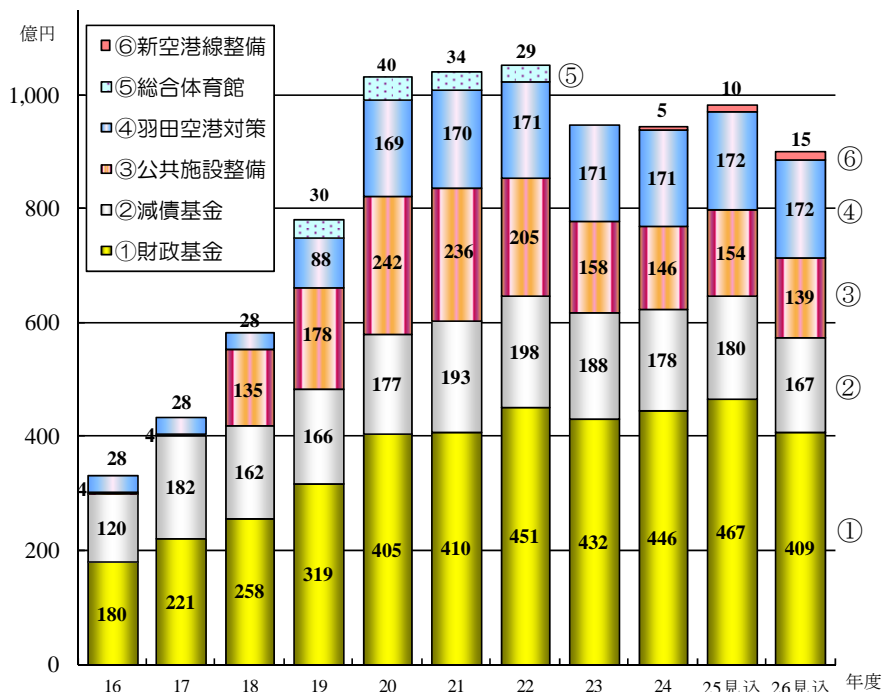
### ○ 公共施設整備基金

老朽化した施設の更新には多額の経費が見込まれることから、計画的に事業へ充当します。

### ○ 減債基金

満期に一括で返済する特別区債の元金を準備し、また、将来の公債費に充てる財源とするため、借入期間に対応した額を毎年度積み立てています。

主な積立基金の現在高推移（各年度末）



(単位: 億円)

区 分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度見込	26年度見込
主な積立基金現在高合計	332	435	583	781	1,033	1,043	1,054	949	946	983	902
① 財政基金	180	221	258	319	405	410	451	432	446	467	409
② 減債基金	120	182	162	166	177	193	198	188	178	180	167
③ 公共施設整備	4	4	135	178	242	236	205	158	146	154	139
④ 羽田空港対策	28	28	28	88	169	170	171	171	171	172	172
⑤ 総合体育館				30	40	34	29	—	—	—	—
⑥ 新空港線整備									5	10	15
特別区債現在高	1,058	939	804	698	636	600	547	508	478	468	464
主な基金現在高－区債現在高	Δ726	Δ504	Δ221	83	397	443	507	441	468	515	438

※基金現在高は年度末3月31日現在の数字に、出納整理期間の増減を反映しています。

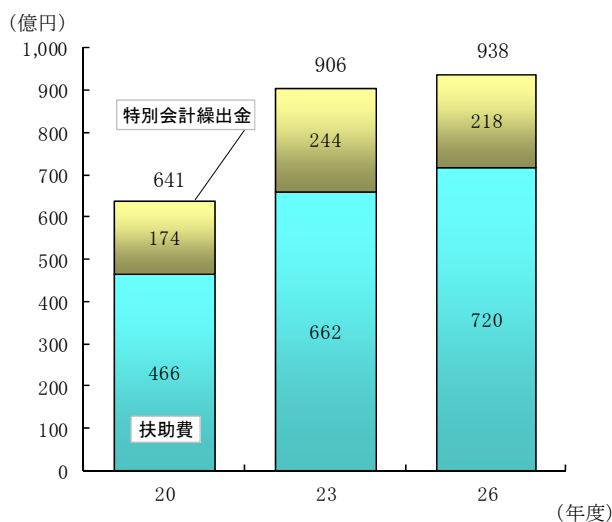
## 7 社会保障関係経費の増大と消費税率引上げ分の活用

近年、社会保障関係経費である、待機児童対策に係る経費や障害者自立支援給付費等の扶助費、高齢者人口の増加等による介護保険など特別会計繰出金が増大しています。

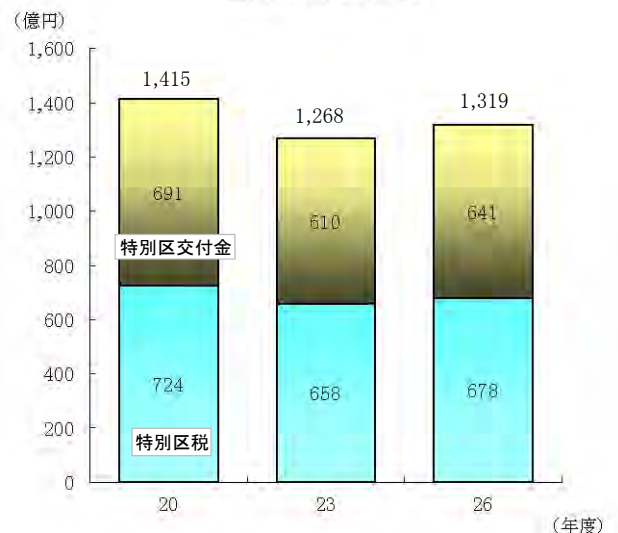
一方、区の基幹財源である特別区税と特別区交付金は、景気の影響を受けやすく、今後は人口減少も見込まれていることから、中期的には大幅な増収は期待できません。

そのため、総合防災力の強化や、区の未来に向けた戦略的な施策の推進など、多くの行政課題を抱える区の財政環境は、厳しい局面を迎えているといえます。

扶助費と特別会計繰出金の推移



基幹財源の推移



※平成 26 年度は当初予算額、20、23 年度は決算額です。

※特別会計繰出金は、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険の 3 特別会計（平成 20 年度のみ老人保健医療を含む 4 特別会計）への繰出金です。

### 消費税率引上げによる社会保障財源基盤の安定

- 平成 26 年 4 月 1 日より消費税率が 5% から 8% へ引き上げられることとなりました。これに伴い、地方消費税交付金として区に交付される割合は消費税率換算で 0.5% から 0.85% となり、26 年度は 19 億円の歳入の増加が見込まれています。
- 消費税率引上げによる増収分は全て社会保障財源化されます。区は、増収分を最大限に有効活用し、財政の健全性を維持しながら、医療、介護や子ども・子育て支援など、社会保障の充実及び安定化を図っていきます。

## 8 緊急防災・減災事業のための特別区民税均等割の引き上げ

- 「東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律」が制定されたことに伴い、防災のための施策に要する費用の財源を確保するため、平成26年度から35年度までの10年間、特別区民税均等割の額は、現在の年額3,000円から500円引き上げられ、年額3,500円となります。
- 区は、この加算分を、緊急に実施する防災のための施策の財源とし、「大田区総合防災対策」の基本方針と実施計画に基づく事業を行います。
- 平成26年度の主な緊急防災・減災事業は下記のとおりです。

	現行 (平成25年度まで)	特例期間 (平成26~35年度)
特別区民税均等割	3,000円	3,500円

### 平成26年度の主な緊急防災・減災事業

- 「区民の命を守る」対策
  - 新型D級ポンプ（ミニポンプ）の入れ替え
  - 都市基盤施設の維持・更新
  - 建物の耐震診断・改修助成
  - 不燃化特区制度を活用した取り組み
- 「最低限の生活を守る」対策
  - 学校避難所備蓄物品の充実
  - 避難所における電源及び照明の確保
  - 一時滞在施設等への備品等の配備

平成24年4月、東京都は首都直下地震等による新たな被害想定を発表しました。これによると、大田区は、従来の被害想定より揺れに関する建物被害（全壊）が増加し、比例して、死者数も増加するとされています。

区は、災害の被害を最小限に抑えるために、区民や地域、企業、団体等の地域力を結集し、自助・共助・公助の連携によって、地域防災力を一層強化します。



## 9 大田区の経営改善

○健全な財政を維持しながら、未来プラン（後期）を円滑に進めていくため、「大田区経営改革推進プラン」に基づき、引き続き、行政の経営改善に努めていきます。

### ◇「大田区経営改革推進プラン」（平成 24～26 年度）の概要

#### 1 区民本位の行政経営の推進

- (1) 情報公開と区民参画の推進 (2) 信頼される窓口づくり
- (3) マネジメント機能の強化

#### 2 持続可能な行政経営の推進

- (1) 効果的でムダのない事務事業の展開 (2) 健全な財政運営の推進
- (3) 柔軟で機動的な組織体制の整備 (4) ファシリティマネジメントの推進
- (5) 環境への配慮 (6) 危機管理機能の強化 (7) 地方分権・地域主導の取組み

#### 3 地域力を活かす行政経営の推進

- (1) 地域活動の支援と地域力の醸成 (2) 産学公の連携による地域活性化の推進
- (3) 新しい公共の推進 (4) 国際都市おたの推進 (5) シティセールスの推進

#### 4 職員力を活かす行政経営の推進

- (1) 職員力の強化

### ◇「大田区経営改革推進プラン」平成 25 年度までの主な取組み

- 平成 24 年 10 月からツイッターによる行政情報の配信開始。
- 平成 25 年 7 月から YouTube を活用した行政情報(シティーニュース)の配信開始。
- 平成 25 年度から区政サポーター2 期目。区が実施するイベントへの参加を促すとともに、パブリックコメントへの参加協力を依頼。
- 新たな行政評価システムの構築検討。
- 補助金の見直しに向けた方針や交付基準、交付規則の検討。
- 「OTA シティ・マネジメントレポート」の作成、公表。
- 区税や国保料の収納率の向上策として、コンビニ収納やモバイルレジ収納などによる納付機会の拡大、督促や訪問催告の強化などによる歳入確保。
- 区のホームページへのバナー広告導入による歳入確保。
- 区政情報を発信するデジタルサイネージ（電子看板）における、企業広告収入による歳出削減。
- 新たな職員定数基本計画の策定（平成 26 年度～28 年度）。
- 公共施設における省エネルギー機器や再生可能エネルギー導入実施。
- 平成 24 年 5 月に東京工業大学と基本協定を更新。24 年 10 月に片柳学園と基本協定を締結。25 年 4 月に東邦大学と基本協定を締結。協定に基づき、教育分野、産業分野などあらゆる分野において連携を推進。
- 経験者採用により、民間企業で培った経験を行政分野において活用。

## 10 主な組織の改正について

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な実施に向けた庁内検討や施策等の調整を行うため、区長政策室に「東京オリンピック・パラリンピック推進担当課長」を設置します。
- 社会保障・税番号制度の実施に向けて、個人番号の保有に際しての特定個人情報保護評価に関する事務、情報セキュリティ事務及び個人情報保護事務等について、一体的な執行体制を整備するため、総務部に「情報セキュリティ対策担当課長」を設置します。
- 人権・同和問題や男女平等に関する施策の効率的な執行体制を整備するため、総務部に「人権・男女平等推進課」を設置します。
- 地域が主体となり、地域と区の連携を推進し、これまで以上に地域力を活用し、区民、自治会・町会、事業者、団体・NPOなどが連携・協働できるよう促進するほか、さらに防災機能の強化に努めるため、「地域力推進部」を設置します。
- これまでの産業に関連した観光資源に加えて、文化の観点からも観光資源の活用や発掘を行うことにより、さらに観光施策を推進し、国際都市として都市と人々をつなぐ役割を積極的に担うとともに、多文化共生社会を目指すため、「観光・国際都市部」、「観光課」及び「国際都市・多文化共生推進課」を設置します。
- 工業振興施策をより推進するため、産業経済部に「工業振興担当課長」を設置します。
- まちづくり推進部と連携し、空港跡地に建設予定の産業交流施設の整備に向けた施策をより推進するため、産業経済部に「産業交流担当課長」を設置します。
- 待機児解消施策のさらなる推進を図るため、こども家庭部に「待機児担当課長」を設置します。
- 新空港線や JR 東日本の貨物線活用などの公共交通の整備等に取り組むため、まちづくり推進部に「交通企画担当部長」を設置します。
- 臨海部におけるまちづくり計画などに関する施策をさらに推進するため、まちづくり推進部に「空港臨海部調整担当課長」を設置します。

## 平成26年度 一般会計予算（案）集計表

(1) 歳入(款別)

(単位:千円、%)

款		26年度		25年度当初		前年度比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	特別区税	67,773,918	28.0	65,692,655	28.3	2,081,263	3.2
	うち特別区民税	62,229,471	25.7	60,359,198	26.0	1,870,273	3.1
	うち特別区たばこ税	5,310,207	2.2	5,106,733	2.2	203,474	4.0
2	地方譲与税	1,710,001	0.7	1,692,001	0.7	18,000	1.1
3	利子割交付金	995,000	0.4	826,000	0.4	169,000	20.5
4	配当割交付金	600,000	0.2	360,000	0.2	240,000	66.7
5	株式等譲渡所得割交付金	125,000	0.1	75,000	0.0	50,000	66.7
6	地方消費税交付金	10,079,000	4.2	8,169,000	3.5	1,910,000	23.4
7	自動車取得税交付金	330,001	0.1	580,001	0.2	△ 250,000	△ 43.1
8	地方特例交付金	433,000	0.2	441,000	0.2	△ 8,000	△ 1.8
9	特別区交付金	64,100,000	26.5	59,606,000	25.7	4,494,000	7.5
10	交通安全対策特別交付金	85,000	0.0	87,000	0.0	△ 2,000	△ 2.3
11	分担金及び負担金	3,562,829	1.5	3,558,083	1.5	4,746	0.1
12	使用料及び手数料	7,014,090	2.9	6,834,578	2.9	179,512	2.6
13	国庫支出金	44,341,035	18.3	43,948,585	18.9	392,450	0.9
14	都支出金	12,840,340	5.3	13,198,196	5.7	△ 357,856	△ 2.7
15	財産収入	381,363	0.2	359,838	0.2	21,525	6.0
16	寄附金	277,823	0.1	257,850	0.1	19,973	7.7
17	繰入金	11,924,147	4.9	12,287,646	5.3	△ 363,499	△ 3.0
18	繰越金	2,000,000	0.8	2,000,000	0.9	0	0.0
19	諸収入	7,449,807	3.1	6,197,243	2.7	1,252,564	20.2
20	特別区債	6,000,000	2.5	6,000,000	2.6	0	0.0
合 計		242,022,354	100.0	232,170,676	100.0	9,851,678	4.2

## (2) 歳出(款別)


(単位:千円、%)

款		26年度		25年度当初		前年度比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	議会費	1,066,635	0.4	1,120,677	0.5	△54,042	△4.8
2	総務費	30,306,377	12.5	28,872,065	12.4	1,434,312	5.0
3	福祉費	126,260,183	52.2	123,279,693	53.1	2,980,490	2.4
4	衛生費	7,799,982	3.2	7,452,904	3.2	347,078	4.7
5	産業経済費	3,410,008	1.4	3,477,505	1.5	△67,497	△1.9
6	土木費	14,456,996	6.0	14,427,846	6.2	29,150	0.2
7	都市整備費	16,739,338	6.9	13,767,111	5.9	2,972,227	21.6
8	環境清掃費	9,467,796	3.9	9,496,846	4.1	△29,050	△0.3
9	教育費	23,832,569	9.8	20,821,217	9.0	3,011,352	14.5
10	公債費	7,296,986	3.0	7,872,713	3.4	△575,727	△7.3
11	諸支出金	1,085,484	0.4	1,282,099	0.6	△196,615	△15.3
12	予備費	300,000	0.1	300,000	0.1	0	0.0
合計		242,022,354	100.0	232,170,676	100.0	9,851,678	4.2

## 11 事業説明資料

- |     |           |             |
|-----|-----------|-------------|
| (1) | 安全・安心     | P.22 ~ P.39 |
| (2) | 魅力あるまちづくり | P.40 ~ P.54 |
| (3) | 観光・文化     | P.55 ~ P.64 |
| (4) | 産業・環境     | P.65 ~ P.76 |
| (5) | 子育て・教育    | P.77 ~ P.85 |
| (6) | 健康・福祉・医療  | P.86 ~ P.95 |

【1】安全・安心（1）

<p>事業名</p>	<p> 総合防災力強化事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;"><b>2億7,264万円</b></p>
<p>事業のねらい</p>	<p>「大田区総合防災力強化検討委員会」の提言内容を具体化するため、平成24年度補正予算、25年度予算に引き続き、「区民の命を守る対策」「最低限の生活を守る対策」「災害対策本部機能強化」の観点から、ソフト・ハードの両面で総合防災力の強化を着実にすすめていきます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 新型D級ポンプ（ミニポンプ）の入れ替え <span style="float: right;">6,939万円</span>          震災時に火災を拡大させないためには、初期消火活動は欠かせません。現在、防災市民組織に配備している古いD級ポンプを取扱いが簡便な新型ポンプに入れ替え、街頭消火器、スタンドパイプやC級ポンプとの併用により地域の初期消火能力の向上を図ります。[26・27年度2か年計画]</p> <p>2 区立小中学校への緊急地震速報受信端末の導入 <span style="float: right;">2,519万円</span>          多くの児童・生徒が通う学校において、災害時に子どもの生命を守る対策は最重要課題です。そのため、大規模地震の発生時に、事前に警報音で知らせる緊急地震速報の受信端末を区立小中学校全88校に配備します。</p> <p>3 わがまち防災ネットシステムの導入 <span style="float: right;">518万円</span>          災害時に、区内の被害状況を円滑かつ的確に把握するため、災害現場において職員がスマートフォンで撮影した映像を、GPS機能を活用して地図データに反映するシステムを導入します。          このシステムの導入により災害対策本部の意思決定を支援し、区内の被害を最小限に抑えることにつながります。          また、平時においては、防災課が所有する街頭消火器をはじめとした防災資源に関する情報を公開することによって、区民に対する防災意識の向上に役立てることができるだけだけでなく、小中学校における防災教育の教材としても使用することが可能となります。</p> <p>4 生活再建支援システムの導入 <span style="float: right;">1,273万円</span>          大規模な災害が発生したのち、区民の生活を再建するためには、円滑な罹災証明の発行が必要不可欠です。          このシステムの導入により70万区民の罹災証明の発行の他、被災者台帳の作成が可能になり、被災者の円滑な支援へとつながります。</p> <p>5 消防少年団活動助成金の増額 <span style="float: right;">40万円</span>          消防少年団の活動の充実と、将来の地域防災リーダーを育成するために、消防少年団に対する活動助成金の増額を行います。</p>

	<p>6 蒲田駅周辺滞留者対策訓練の実施 <span style="float: right;">483 万円</span>  首都直下地震の新たな被害想定では蒲田駅周辺で約 8,500 人の駅前滞留者が発生します。26 年度は 25 年度に策定したマニュアルに基づきコンサルタントと共に訓練を実施します。  訓練は、関係機関や地域の事業者との連携を深め、マニュアルに基づいた誘導や支援ができるか、またその後に問題点を検証することで災害時の滞留者対策の強化につなげます。</p> <p>7 学校避難所備蓄物品の充実 <span style="float: right;">1 億 4,706 万円</span>  91 ヶ所の学校避難所に配備されている投光器、発電機、仮設トイレ等の台数を新たな被害想定を踏まえて追加配備し、避難所機能を強化します。</p> <p>8 避難所における電源及び照明の確保 <span style="float: right;">786 万円</span>  災害による停電に備え、学校避難所に可動式の太陽光発電による LED 照明を導入します。自然エネルギーで発電するため、災害時には避難所における電源及び照明として使用することができます。また、平常時にも学校での防犯灯として使用することができます。</p>																											
<b>問合せ先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td colspan="4" style="text-align: center;"><b>地域振興部 防災課</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><b>課長氏名</b></td> <td style="width: 35%;">(上記 2, 3, 4, 6, 7, 8)</td> <td style="width: 15%;">須川 孝芳</td> <td style="width: 10%;">電話</td> <td style="width: 25%;">5 7 4 4 - 1 7 0 4</td> </tr> <tr> <td>(上記 1, 5)</td> <td>川口 行彦</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 7 1 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><b>担当者氏名</b></td> <td>(上記 1, 5)</td> <td>小山 和巳</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 6 1 1</td> </tr> <tr> <td>(上記 2, 3, 6)</td> <td>渡邊 嵩正</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 2 3 6</td> </tr> <tr> <td>(上記 4, 7, 8)</td> <td>上田 哲也</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 2 3 5</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	<b>地域振興部 防災課</b>				<b>課長氏名</b>	(上記 2, 3, 4, 6, 7, 8)	須川 孝芳	電話	5 7 4 4 - 1 7 0 4	(上記 1, 5)	川口 行彦	電話	5 7 4 4 - 1 7 1 2	<b>担当者氏名</b>	(上記 1, 5)	小山 和巳	電話	5 7 4 4 - 1 6 1 1	(上記 2, 3, 6)	渡邊 嵩正	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 6	(上記 4, 7, 8)	上田 哲也	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 5
<b>担当課</b>	<b>地域振興部 防災課</b>																											
<b>課長氏名</b>	(上記 2, 3, 4, 6, 7, 8)	須川 孝芳	電話	5 7 4 4 - 1 7 0 4																								
	(上記 1, 5)	川口 行彦	電話	5 7 4 4 - 1 7 1 2																								
<b>担当者氏名</b>	(上記 1, 5)	小山 和巳	電話	5 7 4 4 - 1 6 1 1																								
	(上記 2, 3, 6)	渡邊 嵩正	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 6																								
	(上記 4, 7, 8)	上田 哲也	電話	5 7 4 4 - 1 2 3 5																								

【1】安全・安心（2）

<p><b>事業名</b></p>	<p>児童館・福祉避難所等における備蓄物品等の整備 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>4,031万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>震災等の災害時に、お預かりしている乳幼児や学童保育児、要援護障がい者・高齢者、発生が予想される帰宅困難者等に対して、必要な物品等を配備します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 児童館等における備蓄食糧等の購入 <span style="float: right;">652万円</span></p> <p>（1）児童館など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品目 飲料水、アルファ米（白米）、粉ミルク、紙おむつ</li> <li>・対象 児童館など計 59 施設</li> </ul> <p>（2）子ども家庭支援センターなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品目 飲料水、アルファ米（白米）、粉ミルク、紙おむつ</li> <li>・対象 一時保育室及び子育てひろば 計 5 施設</li> </ul> <p>2 福祉避難所における防災備蓄物品の確保（障がい者施設） <span style="float: right;">1,177万円</span></p> <p>（1）区立障がい者施設</p> <p>①区立障がい者通所施設（14 施設）</p> <p>②（仮称）障がい者総合サポートセンター</p> <p>災害時に福祉避難所として運営する際に、避難者の生活スペース及び介護等に必要なプライバシーを確保するため組立式パーテーションを避難所の規模にあわせて配備します。</p> <p>（2）民立障がい者施設（通所 2 施設、入所 2 施設）</p> <p>備蓄消耗品（衛生用品、生活用品など）、備品（区立施設に準じる災害対策用備品）を配備するための震災対策費として、購入経費を助成します。</p> <p>3 福祉避難所における防災備蓄物品の確保（高齢者施設） <span style="float: right;">343万円</span></p> <p>特別養護老人ホーム 13 施設、老人保健施設 1 施設</p> <p>災害時に支援を必要とする高齢者の福祉避難所を開設・運営するために、必要な備蓄品（滑り状態階段上下搬送器具、発電機）を配備します。</p>



	<p>4 一時滞在施設等への備品等の配備 <span style="float: right;">1,859 万円</span></p> <p>一時滞在施設、物資輸送拠点となる以下の区施設に対し、非常用電源として発電機や帰宅困難者用に食糧等を配備します。</p> <p>(1) 区民ホールアプリコ (一時滞在施設) 所在地：蒲田五丁目 37 番 3 号 備蓄物品：仮設トイレ、毛布、非常用食糧</p> <p>(2) 大田区総合体育館 (一時滞在施設、輸送拠点施設) 所在地：東蒲田一丁目 11 番 1 号 備蓄物品：発電機、投光器、毛布、非常用食糧</p> <p>(3) 大森スポーツセンター (輸送拠点施設) 所在地：大森本町二丁目 2 番 5 号 備蓄物品：発電機、投光器、仮設トイレ</p>
<b>問合せ先</b>	<p><b>担当課</b></p> <p>(上記 1-(1)) こども家庭部 子育て支援課</p> <p>(上記 1-(2)) こども家庭部 子ども家庭支援センター</p> <p>(上記 2) 福祉部 障害福祉課</p> <p>(上記 3) 福祉部 高齢福祉課</p> <p>(上記 4) 地域振興部 防災課</p>
	<p><b>課長(所長)氏名</b></p> <p>(上記 1-(1)) 市野 由香里 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 1</p> <p>(上記 1-(2)) 堀 恵子 電話 5 7 5 3 - 1 1 5 3</p> <p>(上記 2) 今岡 正道 電話 5 7 4 4 - 1 2 4 9</p> <p>(上記 3) 篠塚 えみ子 電話 5 7 4 4 - 1 2 5 5</p> <p>(上記 4) 須川 孝芳 電話 5 7 4 4 - 1 7 0 4</p>
	<p><b>担当者氏名</b></p> <p>(上記 1-(1)) 早田 由香吏 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 3</p> <p>(上記 1-(2)) 河野 佳恵 電話 5 7 5 3 - 1 1 5 3</p> <p>(上記 2) 小泉 直美 電話 5 7 4 4 - 1 6 3 9</p> <p>(上記 3) 上田 洋子 電話 5 7 4 4 - 1 2 5 2</p> <p>(上記 4) 上田 哲也 電話 5 7 4 4 - 1 2 3 5</p>

<p><b>事業名</b></p>	<p>橋梁の耐震性の向上 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>13億5,747万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>区が管理する橋梁の中で、災害時の輸送路の要となる緊急道路障害物除去路線や鉄道<sup>また</sup>を跨ぐ橋梁等、防災上重要な橋梁は、計画的に架替や耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>平成23年度に改定した橋梁耐震計画で、優先対策橋梁51橋について32年度を目標に計画的に整備する事としています。</p> <p>橋梁の架替は、10橋を予定しており、25年度末までに3橋（八幡橋、仲之橋、弾正橋）が完成しました。</p> <p>26年度は、環状七号線に架かる新馬込橋の架替工事を25年度に引き続き行い、馬込地区の新たなランドマークとなるような橋としての完成を目指します。また、橋梁の耐震補強整備のうち、①補強工事は、鉄道敷に架かる3橋及び呑川に架かる4橋を行います。②補強設計委託は、呑川に架かる1橋を行います。③補修調査委託は、鉄道敷に架かる4橋を行います。</p> <p>1 橋梁の架替整備 <span style="float: right;">10億1,951万円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新馬込橋（北馬込二丁目28番～中馬込二丁目26番先）</li> </ul> <p>工事期間：23年度から26年度          新橋の形状：単純鋼床版箱桁橋          新橋の規模：橋長40.7m、平均幅員12.8m          新橋の特徴：区ゆかりの芸術家である川瀬巴水の作品のレリーフ（陶板）10枚程度を高欄に設置予定</p> <p style="text-align: center;">【完成イメージ】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">展示一例（馬込の月）</p> 

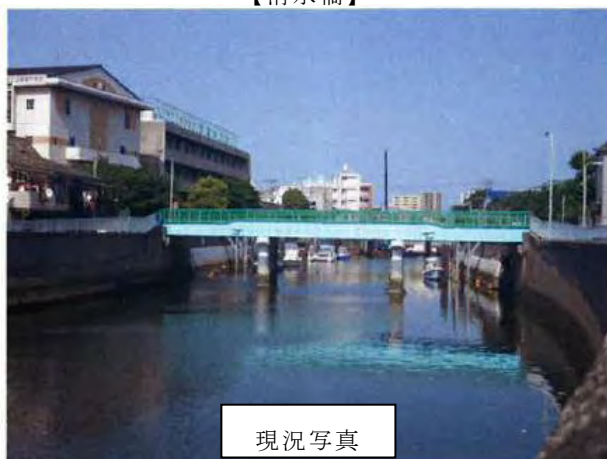
2 橋梁の耐震補強整備

3 億 3,796 万円

大規模地震に対しても橋梁の損傷が限定的なものにとどまり、橋梁としての機能の回復が速やかに行い得る性能確保を目指します。

(例) 落橋防止システムの設置、橋脚等の補強、支承の取換え等

【清水橋】



《耐震補強例》



[落橋防止装置]



[縁端拡幅]

① 耐震補強工事

- ・ 外川田跨線人道橋 (西蒲田 4-19、昭和 44 年供用、橋長 21.08m)
- ・ 山王道跨線人道橋 (山王 1-1、昭和 40 年供用、橋長 25.36m)
- ・ 宮前跨線人道橋 (仲六郷 3-1、昭和 49 年供用、橋長 25.20m)
- ・ 天神橋 (東蒲田 2-35、昭和 36 年供用、橋長 30.35m)
- ・ 清水橋 (東蒲田 2-37、昭和 29 年供用、橋長 31.00m)
- ・ 清水橋添架人道橋 (東蒲田 2-37、昭和 46 年供用、橋長 31.55m)
- ・ 宝来橋添架人道橋 (東蒲田 2-38、昭和 46 年供用、橋長 28.90m)

② 補強設計委託

- ・ 本村橋 (仲池上 1-32、昭和 44 年供用、橋長 10.20m)

③ 補修調査委託

- ・ 馬込橋 (中馬込 3-29、昭和 36 年供用、橋長 20.00m)
- ・ 馬込添架人道橋 (中馬込 3-29、昭和 47 年供用、橋長 10.10m)
- ・ 二本木橋 (中馬込 3-10、昭和 39 年供用、橋長 20.70m)
- ・ 大谷橋 (中馬込 3-8、昭和 38 年供用、橋長 22.00m)

<b>問合せ先</b>	担当課 都市基盤整備部 建設工事課		
	課長氏名	小島 圭二	電話 6 4 2 8 - 6 2 8 1
	担当者氏名	山田 誉	電話 6 4 2 8 - 6 2 8 4

【1】安全・安心 (4)





<p><b>事業名</b></p>	<p>☺☺☺ (仮称) 大田区客引き・客待ち防止条例制定による 環境浄化の取組み <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>2,324万円</u></p>												
<p><b>事業の ねらい</b></p>	<p>蒲田駅周辺など、区内の繁華街では、一部で執拗な客引きが目立ち、まちのイメージが悪くとらえられ、通行する区民が不安を感じ、迷惑している状況があります。区は、風俗営業店等による客引きや客待ち行為等を防止する条例を新たに制定し、区民生活の平穏を保持するとともに、安全で安心な地域社会の実現をめざします。</p>												
<p><b>事業概要</b></p>	<p>蒲田駅東西の繁華街の悪質な客引き等の解消や、周辺環境の改善を目的として、自治会・町会・商店街が中心となって平成23年12月に蒲田駅周辺環境改善対策協議会が発足しました。</p> <p>主な活動として、地域住民や区職員のほか、警察官も参加した夜間パトロールを月4回実施しています。</p> <p>区はこれまでに、地域団体等と連携し、蒲田駅周辺の夜間パトロールを実施してきましたが、執拗な客引き行為の解消には至っていません。</p> <p>そこで、区は東京都23区で初となる過料罰を含めた条例を制定し、一部の悪質な客引きに対する指導、警告等を行うこととしました。</p> <p>そのために、区職員のほか、新たに非常勤職員を採用し、蒲田駅周辺などの地区を夜間パトロールします。</p> <p>今後は、条例の制定に伴い、パトロールの体制を強化するほか、ボランティアへのパトロール用品の貸与、路面ステッカー、チラシ等の啓発用品の掲示・配布などを行い、協議会の活動を支援します。</p>												
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td style="width: 35%;">地域振興部</td> <td style="width: 15%;">防災課</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>庄司 隆</td> <td><b>電話</b></td> <td>5744-1216</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>采野 弘</td> <td><b>電話</b></td> <td>5744-1634</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	地域振興部	防災課		<b>課長氏名</b>	庄司 隆	<b>電話</b>	5744-1216	<b>担当者氏名</b>	采野 弘	<b>電話</b>	5744-1634
<b>担当課</b>	地域振興部	防災課											
<b>課長氏名</b>	庄司 隆	<b>電話</b>	5744-1216										
<b>担当者氏名</b>	采野 弘	<b>電話</b>	5744-1634										

【1】安全・安心（5）

<p><b>事業名</b></p>	<p>耐震診断・改修助成</p>
<p><b>予算額</b></p>	<p>11億5,739万円</p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>大地震による建物の倒壊から区民の生命や財産を守り、災害に強いまちづくりに寄与することを目的に、旧耐震基準で建築された耐震性の低い民間建築物について、耐震化の普及啓発を行うとともに、費用の一部を助成し、耐震化を推進します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 耐震コンサルタント派遣等 1,115万円          非木造建築物の耐震化についての相談や現地調査を行うための耐震コンサルタント派遣、分譲マンションの耐震化に向け区分所有者間の合意形成支援を図るためのアドバイザー派遣等を行います。</p> <p>平成 26 年度          の新規取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●木造住宅については耐震化のスピードアップを図るため、手続きを簡略化します。</li> <li>●分譲マンションの耐震化を進めるため、アドバイザー派遣の回数を増やします。</li> </ul> <p>2 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成 8億4,892万円          大地震時に建物倒壊による道路の閉塞を防止するため、特定緊急輸送道路沿道建築物に対する耐震化助成を行います。</p> <p>(1) 耐震診断助成 助成対象費用の5/6～10/10を助成          (2) 耐震改修計画・設計助成 助成対象費用の1/3+200万円～5/6を助成          (3) 耐震改修工事助成 助成対象費用の1/6～5/6を助成          ※助成限度額は診断、設計はなし、工事は1億3,825万円</p> <p>3 住宅・建築物の耐震化助成 2億9,532万円          住宅、マンション、住宅以外の建築物に対する耐震化助成を行います。</p> <p>平成 26 年度          の新規取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●木造住宅の耐震診断費用を定額化し、助成割合を上げることで、木造住宅の規模に応じて一定額のご負担で耐震診断を受けられる制度とします。</li> <li>●分譲マンションの耐震化をより一層推進するため、診断、設計、工事の各助成限度額をこれまでの3倍に増額します。</li> </ul> <p>(1) 耐震診断助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅10～14万円(4/5)、分譲マンション300万円(2/3)          (2) 耐震改修計画・設計助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅15万円(2/3)、分譲マンション300万円(2/3)          (3) 耐震改修工事助成 助成限度額(助成割合)：木造住宅100万円(1/2)          ※高齢者等特別加算の場合150万円(2/3)、分譲マンション3,000万円(1/2)</p> <p>4 耐震シェルター・ベッド設置費助成 200万円          助成限度額(助成割合)：50万円(9/10)</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 まちづくり推進部 都市開発課</p> <p>課長氏名 落合 邦男 電話 5744-1455</p> <p>担当者氏名 倉 一郎 電話 5744-1349</p>

【1】安全・安心（6）

<p><b>事業名</b></p>	<p>水門・河川監視カメラの設置 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>1,893万円</u></p>												
<p><b>事業の ねらい</b></p>	<p>首都直下地震等による津波や近年多発する局所的な集中豪雨、台風等による浸水被害から区民の生命・財産を守るため、水門及び河川の警戒を要する箇所に監視カメラを設置し、情報収集体制の強化を図ります。</p>												
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 水門・河川監視カメラの設置工事 <span style="float: right;">1,335万円</span></p> <p>2 監視カメラの運用経費 <span style="float: right;">558万円</span></p> <p>（1）水門監視カメラ 2基設置（貴船水門・呑川水門）</p> <p>東京湾北部地震の被害想定においては、防潮堤を超える津波高は想定されていないものの、水門が開放している場合に一部の区域に浸水被害が生じる恐れがあります。津波の進入路と想定される貴船水門と呑川水門に監視カメラを設置して津波遡上を確認できる監視体制の整備を図ります。</p> <p>（2）河川監視カメラ 3基設置（呑川）</p> <p>昨年7月23日に発生した集中豪雨では、大田区、世田谷区や目黒区と広域にわたり大雨が降ったことで、呑川は護岸高近くまで増水し、越水・浸水の恐れがありました。上流からの雨水流入状況や下水との合流状況等、主要箇所に監視カメラを設置して水量等を確認できる監視体制の整備を図ります。</p>												
<p><b>問合先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">地域振興部 防災課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>川口 行彦</td> <td>電話</td> <td>5744-1712</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>小山 和巳</td> <td>電話</td> <td>5744-1611</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部 防災課			課長氏名	川口 行彦	電話	5744-1712	担当者氏名	小山 和巳	電話	5744-1611
担当課	地域振興部 防災課												
課長氏名	川口 行彦	電話	5744-1712										
担当者氏名	小山 和巳	電話	5744-1611										

事業名	都市基盤施設の維持・更新 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<u>1億2,115万円</u>
事業のねらい	道路・橋梁などの都市基盤施設の多くは、今後順次更新時期を迎えます。地域の安全・安心を確保するため、施設の延命化と安全性を確保しながら、計画的に維持・更新を推進していきます。
事業概要	<p>1 橋梁長寿命化修繕計画の推進</p> <p>区で管理している 162 橋梁の大半が、昭和初期から高度経済成長期に整備されたもので、今後順次更新時期を迎えます。地域の安全・安心の確保と維持管理にかかる財政負担低減のために、橋梁の長寿命化修繕計画を推進します。</p> <p>① 橋梁の定期点検</p> <p>5年に1回の頻度で行っている定期点検を実施します。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">【点検状況】</p> <p>② 長寿命化修繕計画及び耐震補強計画の策定</p> <p>現在の橋梁長寿命化修繕計画、橋梁耐震計画を最新の点検結果に反映した形で修正を行うことにより、予防保全型維持管理を推進します。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">【（例）劣化状況及び補修状況】</p> <p>③ 補修設計委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稻荷橋（池上 2-22、昭和 42 年供用、橋長 15.90m）</li> <li>・ 荏野橋（田園調布 4-34、昭和 33 年供用、橋長 5.90m）</li> <li>・ 大塚橋（田園調布 4-43、昭和 30 年供用、橋長 5.20m）</li> <li>・ 三十八号人道橋（石川町 2-12、昭和 27 年供用、橋長 9.90m）</li> </ul>

2 道路標識点検調査委託

区道の道路付属物（標識）について、落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から施設の健全性の点検を行います。

- ・点検箇所 163 箇所（区が管理する大型標識）
- ・点検方法 高所作業者による近接目視
- ・点検項目 亀裂、腐食、ゆるみ・脱落、破断、剥離 ひび割れなど

3 路面性状調査委託

管理する道路の路面状態を把握し、安全で円滑な交通の確保及び舗装に係わる効率的な維持管理に必要な情報取得を目的として調査を実施します。


- ・調査延長 約 780 km（区道総延長）
- ・調査方法 検車による調査
- ・調査項目 ひび割れ率、わだち掘れ量、縦断凸凹、パッチング数など




【点検車イメージ】

<b>問合せ先</b>	<b>担当課</b>		
	(上記1)	都市基盤整備部	建設工事課
	(上記2)	都市基盤整備部	大森まちなみ維持課
	(上記3)	都市基盤整備部	蒲田まちなみ維持課
	<b>課長氏名</b>		
	(上記1)	小島 圭二	電話 6428-6281
(上記2)	保下 誠	電話 5764-0626	
(上記3)	高橋 義博	電話 5713-2005	
<b>担当者氏名</b>			
(上記1)	山田 誉	電話 6428-6284	
(上記2)	馬場 正弘	電話 5764-0631	
(上記3)	榊原 健司	電話 5713-2007	



<b>事業名</b>	 <b>不燃化特区制度を活用した取組み</b> (旧：密集市街地改善のための「木密地域不燃化10年プロジェクト」への取組み)												
<b>予算額</b>	<b>4,204万円</b>												
<b>事業のねらい</b>	<p>東京都の「木密地域不燃化10年プロジェクト」不燃化特区制度の不燃化推進特定整備地区の指定を受けた「大森中地区（西糀谷・東蒲田・大森中）」において、不燃化まちづくり助成事業を実施し、「燃え広がらない・燃えないまち」をめざします。</p>												
<b>事業概要</b>	<p>大森中地区不燃化推進特定整備地区の整備</p> <p>大森中地区は東京都の「防災都市づくり推進計画」で重点整備地域に指定されており、区は平成23年10月から大森中・糀谷・蒲田地区防災街区整備地区計画（約197ヘクタール）を施行し、24年4月からこの地区計画で指定した31本の地区防災道路沿道において、沿道建物の不燃化建替え助成事業を実施しています。</p> <p>この区域の一部（約90ヘクタール）が、東京都「木密地域不燃化10年プロジェクト」の不燃化推進特定整備地区（不燃化特区）の指定を受け、平成25年6月から不燃領域率70%を目標に不燃化まちづくり助成事業を開始しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地区防災道路沿道建物の不燃化建替え助成事業への上乗せとしての壁面後退奨励金 200万円</li> <li>2 戸建て住宅の不燃化建替え助成 3,970万円</li> <li>3 主に未接道敷地での建替え実現を支援するための専門家派遣等 34万円</li> </ol> <p>この事業は平成32年度まで継続して実施します。</p>												
<b>問合先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">まちづくり推進部 都市開発課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>落合 邦男</td> <td>電話</td> <td>5744-1455</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>池上 明</td> <td>電話</td> <td>5744-1338</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部 都市開発課			課長氏名	落合 邦男	電話	5744-1455	担当者氏名	池上 明	電話	5744-1338
担当課	まちづくり推進部 都市開発課												
課長氏名	落合 邦男	電話	5744-1455										
担当者氏名	池上 明	電話	5744-1338										

事業名	 大田区被災地支援ボランティア調整センターの運営
予算額	<u>5,189万円</u>
事業のねらい	<p>東日本大震災の被災地及び大田区へ避難している被災者を支援するため、被災地支援ボランティア調整センターを引き続き運営し、宮城県東松島市の復興と区内避難者の生活を支援します。</p> <p>この被災地支援活動で得たボランティアの力を、大田区内の地域防災力強化に活かしていきます。</p>
事業概要	<p><b>【新規事業】</b></p> <p>1 大田ボランティア塾 <span style="float: right;">27万円</span> 被災地ボランティア経験者を、災害時のボランティアとしてだけでなく、地域の各種活動にボランティアとして参加していただくため、被災地ボランティア参加者（約 3,600 人）への意識調査を実施、検証後にボランティア参加の意義やボランティア事業に関するセミナーなどを開催します。</p> <p>2 防災塾（入門編） <span style="float: right;">11万円</span> 災害時のボランティアを養成するため、被災地ボランティア未経験者を対象に、ボランティアの基礎を学び、被災地支援活動を東松島市で体験する講座を実施します。</p> <p><b>【充実事業】</b></p> <p>3 防災塾（基礎編、応用編）の充実 <span style="float: right;">65万円</span> 災害時のボランティアリーダーを育成するため、災害時を想定した実践的な講座や体験講座など、平成 26 年度は内容を充実させて実施します。</p> <p><b>【継続事業】</b></p> <p>4 被災地（宮城県東松島市）への支援活動 <span style="float: right;">1,859万円</span> 宿泊型ボランティア活動を実施し、コミュニティの再生のための交流事業や孤立化防止の支援を行います。</p> <p>5 区内避難者への支援活動 <span style="float: right;">207万円</span> 避難者の交流の場として交流会やサロン活動を行います。また、ケアマネージャーが避難者宅を訪問し、避難者の孤立化防止を図ります。</p> <p>6 被災地支援ボランティア調整センター運営委託 <span style="float: right;">3,020万円</span> 上記 1 から 5 の活動の本部として、事務局を常設します。</p>
問合先	担当課 地域振興部 地域振興課
	課長氏名 区民協働担当課長 高橋 知之 電話 5744-1225
	担当者氏名 松木 伸浩 電話 5744-1204


事業名	災害時におけるペットの保護対策の啓発活動 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<u>35万円</u>
事業のねらい	<p>災害時にペットに関連して生じる問題に対応するため、災害時の動物救護・管理体制を整備するとともに、ペットの飼い主に対して必要な備え等について普及啓発を行います。</p>
事業概要	<p>東日本大震災では、人とともに多くの飼養されている動物も被災し、動物に関連する様々な問題が発生しました。</p> <p>被災動物への対応は、動物愛護の観点だけではなく、人への危害防止、動物由来感染症の予防、衛生的な環境を確保する上でも重要です。</p> <p>大田区地域防災計画に基づき、災害時の動物救護・管理体制の整備を進めます。</p> <p>1 避難所動物対応マニュアル <span style="float: right;">28万円</span></p> <p>災害時には、飼い主がペットを連れて避難所に避難してくることが想定されます。避難所でのトラブルを防止し、衛生的な管理を行うため、避難所における動物の適正な管理方法を示したマニュアルを作成します。</p> <p>また、動物の適正な管理方法について、各避難所の運営管理者に説明を行い、同行避難体制の整備に努めます。</p> <p>2 ペットのための災害対策（パンフレット） <span style="float: right;">7万円</span></p> <p>災害時に備えて、飼い主が平常時からペットのために備えるべき内容について示したパンフレットを作成し、配布します。</p>
問合先	担当課 <span style="margin-left: 20px;">保健所</span> <span style="margin-left: 20px;">生活衛生課</span>
	課長氏名 <span style="margin-left: 20px;">三井 英司</span> <span style="float: right;">電話 5764-0691</span>
	担当者氏名 <span style="margin-left: 20px;">伊藤 弘之・清水 玲欧奈</span> <span style="float: right;">電話 5764-0695</span>

事業名	街路灯整備による生活安全の確保（街路灯のLED化） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<b>5億3,821万円</b>
事業のねらい	<p>区道に設置されている街路灯を、環境とライフサイクルコストに優れたLED街路灯として整備し、歩行者や自転車の夜間における視認性を高め、区道における安全性、防犯性を向上します。</p>
事業概要	<p>現在の大田区の街路灯総数は約24,000灯で、そのうち約21,000灯が水銀灯80Wの小型街路灯です。その街路灯の約40%は、設置後30年以上が経過しています。</p> <p>そこで長寿命・省電力で環境負荷も少ないLED街路灯の本格的な導入をしていきます。</p> <p>1 整備計画 平成26～30年度の5か年計画で約21,000灯の街路灯改良工事(LED化)を推進します。</p>
	<p>2 事業効果</p> <p>①老朽化の解消 老朽化街路灯の更新ができ、防災面の安全性が向上します。</p> <p>②環境への配慮 LED20VA街路灯で水銀ランプ80W街路灯と同等以上の明るさ、環境負荷約80%の削減および約60%の電気料金を削減できます。</p> <div data-bbox="847 1081 1436 1653" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">LED街路灯設置状況（東糀谷五丁目付近）</p>
問合先	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課</p>
	<p>課長氏名 石井 一雄 電話 6428-6280</p>
	<p>担当者氏名 瀬戸 程行 電話 6428-6286</p>

【1】安全・安心（12）

<p><b>事業名</b></p>	<p>☺☺☺ 区民が防災を身近に感じる日用品のPR促進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>35万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>区内の商店で取り扱う一般的な食品等も防災用品として活用することができます。</p> <p>各家庭で日頃から常備する食品が、防災のための備蓄につながることを区内商店街と連携して広く区民にPRし、災害時に備えた家庭内備蓄の啓発をすすめていきます。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 防災用品活用商品表示シンボルデザインの募集 <span style="float: right;">5万円</span></p> <p>各商店で取り扱っている食品等が、防災用品として活用できる商品であることを示す「防災用品活用商品表示デザイン」を公募により選定し、当事業のシンボルデザインとします。</p> <p>この選定されたシンボルデザインを商店街に掲げ、啓発していただきます。</p> <p>シンボルデザインを通じて、区民が防災をより身近に感じてもらうとともに、当事業の周知を図ります。</p> <p>なお、応募されたデザインの中から最優秀賞1名 優秀賞2名を表彰します。</p> <p>2 商店街へのPR用チラシとポスターの作成 <span style="float: right;">30万円</span></p> <p>家庭内備蓄の推進チラシとポスターを作成し、区民が日常から防災や備蓄の必要性を意識できる仕組みをつくっていきます。</p> <p>区内で協力していただける商店街に、公募により選定した防災用品活用商品のシンボルデザイン表示やポスター、チラシを掲示していきます。</p> <p>各店舗で、買い物客に視覚的に訴え、実際の商品を手にとり見てもらうことで、家庭内備蓄への具体的なイメージを進めると共に商業振興にもつなげていきます。</p>
<p><b>問合先</b></p>	<p>担当課 地域振興部 防災課</p>
	<p>課長氏名 川口 行彦 電話 5744-1712</p>
	<p>担当者氏名 小山 和巳 電話 5744-1611</p>

【1】安全・安心（13）

<b>事業名</b>	 <b>中・高層住宅向け防災パンフレットの作成・配布</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
<b>予算額</b>	<b>103万円</b>
<b>事業の ねらい</b>	<p>一般的に中・高層住宅は耐震性能や防火性能が高く、地震に強いと言われていますが、建物の構造による特有の被害が発生する場合があります。</p> <p>また、耐震化された中・高層住宅の居住者は、学校避難所での避難生活を免れることが想定できます。</p> <p>災害後も自宅で引き続き生活していくために必要な各家庭での備蓄や中・高層住宅内での隣近所の助け合いが必要です。</p> <p>このため、中・高層住宅の居住者や管理組合の役員などに向けたパンフレットを作成し、自助・共助の面から必要な対策について周知・啓発を図ります。</p>
<b>事業概要</b>	<p>中・高層住宅向け防災パンフレットの作成 <span style="float: right;">103万円</span></p> <p style="padding-left: 20px;">10,000部</p> <p style="padding-left: 20px;">(パンフレットの特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高層住宅特有の被害 <ul style="list-style-type: none"> <li>長周期振動などによる大きな揺れやライフラインの途絶、エレベーターが緊急停止したときの対応方法など</li> </ul> </li> <li>・在宅避難を視野に入れた各家庭での備え <ul style="list-style-type: none"> <li>室内の安全対策と家庭内備蓄対策</li> </ul> </li> <li>・自主防災組織結成のすすめ <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の作り方、組織の活動内容など</li> </ul> </li> </ul>
<b>問合先</b>	<b>担当課</b> 地域振興部    防災課
	<b>課長氏名</b> 川口 行彦 <b>電話</b> 5744-1712
	<b>担当者氏名</b> 小山 和巳 <b>電話</b> 5744-1611

【1】安全・安心（14）

<p>事業名</p>	<p>踏切における交通安全の推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p>予算額</p>	<p><u>2,570万円</u></p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>JR 東海道線・京浜東北線を跨ぐ学校踏切では、平成 16 年以降、列車接触事故が多数発生しています。区民が安全・安心して暮らせるまちづくりを推進するため、学校踏切の廃止に向けた代替立体横断施設の整備を進めます。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>測量・調査及び比較設計          代替立体横断施設の設置のため、現状の平面測量、地質調査及び最適な工法のための比較設計を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象踏切：学校踏切</li> <li>・場 所：大森北 4-18～山王 3-4</li> </ul> <p>[現状の状況]          =大森北 4 丁目側=</p>  <p>[位置図]</p> 												
<p>問合せ先</p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 建設工事課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小島 圭二</td> <td>電話</td> <td>6 4 2 8 - 6 2 8 1</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>山田 誉</td> <td>電話</td> <td>6 4 2 8 - 6 2 8 4</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 建設工事課			課長氏名	小島 圭二	電話	6 4 2 8 - 6 2 8 1	担当者氏名	山田 誉	電話	6 4 2 8 - 6 2 8 4
担当課	都市基盤整備部 建設工事課												
課長氏名	小島 圭二	電話	6 4 2 8 - 6 2 8 1										
担当者氏名	山田 誉	電話	6 4 2 8 - 6 2 8 4										

【2】魅力あるまちづくり（1）


<p><b>事業名</b></p>	<p><b>✚ 特区を活用した成長戦略拠点「空港跡地」の整備</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>8,248万円</b></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>空港及びものづくり産業集積地に隣接する空港跡地の立地を活かし、大田区、首都圏、日本の発展につなげるため、「地域」を、「ひと」を、「技術」をつなぎ、中小企業の成長を促す戦略拠点を形成します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>羽田空港跡地第1ゾーンの土地利用は、平成22年10月に策定した「羽田空港跡地まちづくり推進計画」（羽田空港移転問題協議会）において、平成32年頃を目途に空港跡地への産業交流施設、多目的広場などの形成を柱とするまちづくりの概成をめざすこととしました。</p> <p>また、23年12月には国際戦略総合特区「アジアヘッドクォーター特区」の区域に指定され、産業交流施設を活用した国内外の広域的なビジネスマッチングなどにより、特区の一翼を担うこととされました。さらに、25年9月には「国家戦略特区」創設に向けた国の提案募集において、東京都は空港跡地の構想を盛り込んだ提案を行いました。</p> <p>空港跡地の土地利用は、地元区、東京都、国及び民間事業者の連携により、地域の活性化と日本の国際競争力の強化につなげることが重要です。このような観点と経過を踏まえ、来年度は次の項目について具体的な事業内容、事業スキーム等の調査・検討を行い、産業交流の拠点形成を推進します。</p> <p>1 特区の取り組み推進 <span style="float: right;">1,977万円</span>          羽田空港の諸施設、跡地第2ゾーン及び他地域の特区との相乗効果を生み出す連携方策、国内の選りすぐりの資源を集積し海外へ発信する拠点形成に向けた施設及び官民連携スキームなどについて調査・検討を実施します。</p> <p>2 基盤施設の整備検討 <span style="float: right;">5,343万円</span>          多目的広場、天空橋駅前広場及び自転車駐車場等について、鉄軌道やライフラインの現状を踏まえ、今後の都市計画手続きを見据えながら、各施設の整備に向けた調査・検討を実施します。</p> <p>3 産業支援機能の検討 <span style="float: right;">929万円</span>          国内外企業とのビジネスマッチングや研究開発の拠点化を図るため、マッチングの方策、市場調査などを実施し、具体的な機能と運営方法を検討します。</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p><b>担当課</b>          (上記1,2) まちづくり推進部 まちづくり管理課          (上記3) 産業経済部 産業振興課</p> <p><b>課長氏名</b>          (上記1,2) 白鳥 信也 電話 5744-1648          (上記3) 浜口 和彦 電話 3733-6124</p> <p><b>担当者氏名</b>          (上記1,2) 大竹 豊和 電話 5744-1650          (上記3) 吉崎 彰・西川 恭子 電話 3733-6183</p>




【2】魅力あるまちづくり（2）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 士 新空港線の整備促進事業</p>
<p>予算額</p>	<p>5億1,695万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>J R・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のわずか800mを結ぶことで、区民の移動利便性と区内はもちろん、都心や川崎、横浜方面などと羽田空港間のアクセス機能が高まる新空港線について、早期実現をめざします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>新空港線は、国も平成27年までに整備着手すべき重要な路線と位置付けています。</p> <p>J R・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶことで、区内の移動利便性が高まることはもちろん、区民の交流機会の拡大も期待されます。</p> <p>また、東急東横線や東京メトロ副都心線等との相互直通運転により、羽田空港から東京西部方面などを結ぶ広域交通軸が形成されるとともに、アジアヘッドクォーター特区エリアである渋谷や新宿、六本木などと羽田空港間の移動利便性が向上し、世界で一番ビジネスのしやすい都市環境づくりへの貢献も見込まれます。</p> <p>国際都市東京の更なる飛躍に寄与する新空港線について、早期実現をめざした取り組みを進めます。</p> <p>1 新空港線整備資金積立基金積立金 5億70万円          新空港線の工事着工準備資金として、24年度から行っている基金積立について、26年度も5億円の積立てを行います。</p> <p>2 新空港線の整備促進事業 1,625万円          これまでの調査・研究を踏まえ、整備計画案の作成に向けた検討をさらに進めます。</p> <p>あわせて、新空港線整備促進区民協議会と連携し、区民の整備促進機運をより一層高めるとともに、関係者間の合意形成に全力で取り組みます。</p> <p>路線位置図</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課</p> <p>課長氏名 吉田 春彦 電話 5744-1691</p> <p>担当者氏名 西沢 一成 電話 5744-1303</p>


【2】魅力あるまちづくり（3）

<b>事業名</b>	 <b>京急関連駅周辺のまちづくり</b>												
<b>予算額</b>	<b>67億8,493万円</b>												
<b>事業のねらい</b>	<p>京浜急行線連続立体交差事業を契機として、京急蒲田・糀谷・雑色の3駅周辺地区において、駅前環境や防災機能の向上を図り、地域の皆様とともに安全・安心のまちづくりの取り組みを進めます。</p>												
<b>事業概要</b>	<p>1 京急蒲田駅西口周辺地区 <span style="float: right;">35億9,928万円</span>          駅前地区では、地元地権者が組織する市街地再開発組合（平成23年3月設立認可）の事業を支援します。再開発組合は、26年度も25年度に引き続き駅前広場・再開発ビル建設工事を行います。          また、京急蒲田西口地区ランドデザインに沿ったまちづくりでは、まちづくり研究会や地権者団体の活動を支援します。</p> <p>2 糀谷駅周辺地区 <span style="float: right;">31億7,588万円</span>          地元地権者が組織する市街地再開発組合（24年7月設立認可）の事業を支援します。再開発組合は、26年度に除却整地・再開発ビル着工を予定しています。また、再開発ビル内に公益施設（子育て支援施設、高齢者支援施設、公共自転車駐車場、防災倉庫）を設置するため、必要な手続きを行っていきます。</p> <p>3 雑色駅周辺地区 <span style="float: right;">977万円</span>          地元地権者が組織するまちづくり研究会の活動を支援します。再開発事業の実現化に向け、地元住民との話し合いを進めていきます。</p>												
<b>問合先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">連続立体事業本部 連続立体事業課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>岡田 誠</td> <td>電話</td> <td>5744-1351</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>遠藤 嗣人</td> <td>電話</td> <td>5744-1356</td> </tr> </table>	担当課	連続立体事業本部 連続立体事業課			課長氏名	岡田 誠	電話	5744-1351	担当者氏名	遠藤 嗣人	電話	5744-1356
担当課	連続立体事業本部 連続立体事業課												
課長氏名	岡田 誠	電話	5744-1351										
担当者氏名	遠藤 嗣人	電話	5744-1356										


【2】魅力あるまちづくり（4）

<b>事業名</b>	 <b>羽田地区公共施設の最適配置・整備</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>																												
<b>予算額</b>	<b><u>6,139万円</u></b>																												
<b>事業のねらい</b>	<p>羽田地区の公共施設（羽田特別出張所・保育園及び羽田文化センター・老人いこいの家ほか）の老朽化に伴い、安全・安心で利用しやすく魅力ある施設として整備します。</p> <p>施設の整備にあたっては、羽田地区を一体としてとらえ、区民サービス向上のため施設の配置を最適化します。また、将来の人口減少などを見据え、変化する区民ニーズにふさわしい公共施設のあり方を反映させた施設整備とします。</p>																												
<b>事業概要</b>	<p>1 現況施設の概要</p> <p>(1) 羽田特別出張所・保育園（併設施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置 羽田一丁目 18 番 14 号</li> <li>・敷地面積 約 1,231 ㎡</li> <li>・延床面積 約 1,345 ㎡</li> </ul> <p>(2) 羽田文化センター・老人いこいの家ほか（併設施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置 羽田四丁目 11 番 3 号</li> <li>・敷地面積 約 1,848 ㎡</li> <li>・延床面積 約 1,972 ㎡</li> </ul> <p>2 整備の概要</p> <p>上記 2 か所に設置されている各施設を区民の利便等サービスの向上につながるよう、施設の配置を最適化し、複合施設として整備します。</p> <p>3 スケジュール概要（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計 平成 26～27 年度</li> <li>・改築工事 平成 28～29 年度</li> <li>・仮設運用 平成 27～29 年度</li> <li>・竣工 平成 29 年度</li> </ul>																												
<b>問合せ先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td>地域振興部 羽田特別出張所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>計画財政部 計画財政課</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><b>課長氏名</b></td> <td>羽田特別出張所長 鈴木久夫</td> <td>電話</td> <td>3 7 4 2 - 1 4 1 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画調整担当課長 今井健太郎</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 1 2 7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><b>担当者氏名</b></td> <td>羽田特別出張所 山口智久</td> <td>電話</td> <td>3 7 4 2 - 1 4 1 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画財政課 石川大輔</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 1 2 4</td> <td></td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	地域振興部 羽田特別出張所					計画財政部 計画財政課				<b>課長氏名</b>	羽田特別出張所長 鈴木久夫	電話	3 7 4 2 - 1 4 1 1		計画調整担当課長 今井健太郎	電話	5 7 4 4 - 1 1 2 7		<b>担当者氏名</b>	羽田特別出張所 山口智久	電話	3 7 4 2 - 1 4 1 1		計画財政課 石川大輔	電話	5 7 4 4 - 1 1 2 4	
<b>担当課</b>	地域振興部 羽田特別出張所																												
	計画財政部 計画財政課																												
<b>課長氏名</b>	羽田特別出張所長 鈴木久夫	電話	3 7 4 2 - 1 4 1 1																										
	計画調整担当課長 今井健太郎	電話	5 7 4 4 - 1 1 2 7																										
<b>担当者氏名</b>	羽田特別出張所 山口智久	電話	3 7 4 2 - 1 4 1 1																										
	計画財政課 石川大輔	電話	5 7 4 4 - 1 1 2 4																										

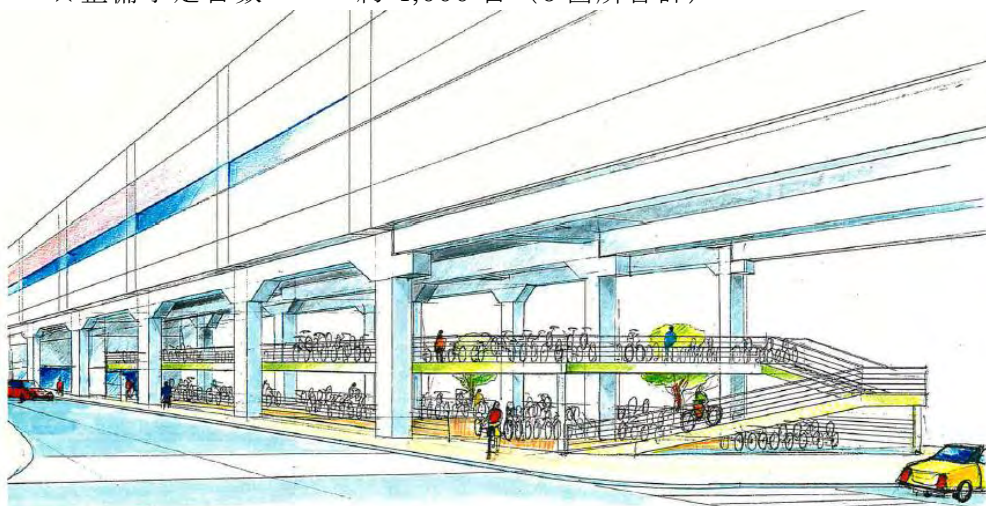
【2】魅力あるまちづくり（5）

<b>事業名</b>	 <b>蒲田駅周辺地区の整備</b>																																										
<b>予算額</b>	<u>6,480万円</u>																																										
<b>事業のねらい</b>	<p>蒲田駅周辺整備について、平成25年度に策定した、課題解決に必要な施設整備と実現化に向けた手順、整備条件などの概要をまとめた「蒲田駅周辺再編プロジェクト」の具体化に向けた取り組みを進めます。</p> <p>初動期の整備では、西口駅前広場南側の円形段差のフラット化や北側の歩行者動線の改善など歩行者環境の充実をめざします。また、東口駅前広場については、用地取得により面積を拡張し、歩道幅員の拡幅や交通施設を再配置し、歩行者環境と交通広場機能の向上をめざします。</p> <p>このほか、駅周辺街区の関係地権者による勉強会や組織運営の支援を行い、老朽化した建物の建替え更新の促進を図ります。</p>																																										
<b>事業概要</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進             <ol style="list-style-type: none"> <li>①東口駅前広場初動期整備の具体化</li> <li>②東口駅前広場中長期整備計画の検討</li> <li>③東口駅前広場等の都市計画変更</li> </ol> </li> <li>2 蒲田駅周辺に係る地権者支援等             <ol style="list-style-type: none"> <li>①蒲田駅周辺まちづくり検討支援</li> <li>②地権者意向調査等</li> </ol> </li> <li>3 蒲田都市づくり推進会議開催等</li> <li>4 蒲田駅西口駅前広場の再生整備             <ol style="list-style-type: none"> <li>①基本設計</li> <li>駅前広場、歩道等の測量設計</li> </ol> </li> </ol> <div data-bbox="938 797 1426 1323" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="954 1346 1417 1375">蒲田駅西口駅前広場整備イメージ</p>																																										
<b>問合せ先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 15%;">(上記1~4)</td> <td style="width: 15%;">まちづくり推進部</td> <td style="width: 15%;">都市開発課</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記4)</td> <td>都市基盤整備部</td> <td>建設工事課</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>(上記1~4)</td> <td>齋藤 浩一</td> <td>電話</td> <td>5744-1341</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記4)</td> <td>石井 一雄</td> <td>電話</td> <td>6428-6280</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>(上記1,3,4)</td> <td>近江 淳一</td> <td>電話</td> <td>5744-1339</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記2)</td> <td>菊地 裕之</td> <td>電話</td> <td>5744-1339</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記4)</td> <td>内田 岳</td> <td>電話</td> <td>6428-6288</td> <td></td> </tr> </table>	担当課	(上記1~4)	まちづくり推進部	都市開発課				(上記4)	都市基盤整備部	建設工事課			課長氏名	(上記1~4)	齋藤 浩一	電話	5744-1341			(上記4)	石井 一雄	電話	6428-6280		担当者氏名	(上記1,3,4)	近江 淳一	電話	5744-1339			(上記2)	菊地 裕之	電話	5744-1339			(上記4)	内田 岳	電話	6428-6288	
担当課	(上記1~4)	まちづくり推進部	都市開発課																																								
	(上記4)	都市基盤整備部	建設工事課																																								
課長氏名	(上記1~4)	齋藤 浩一	電話	5744-1341																																							
	(上記4)	石井 一雄	電話	6428-6280																																							
担当者氏名	(上記1,3,4)	近江 淳一	電話	5744-1339																																							
	(上記2)	菊地 裕之	電話	5744-1339																																							
	(上記4)	内田 岳	電話	6428-6288																																							



【2】魅力あるまちづくり（6）

<b>事業名</b>	 <b>大森駅周辺地区の整備</b>												
<b>予算額</b>	<u>3,394万円</u>												
<b>事業のねらい</b>	<p>【大森駅西側駅周辺】          区を中心拠点としてグランドデザインに基づくまちづくりに取り組んでいる大森駅西側について、都市計画道路補助28号線（池上通り）の整備を核とする安全で快適な駅前空間の創出と、老朽建物の機能更新を図ることで、市街地の総合的な再整備を実現します。</p> <p>【平和島競艇場護岸通路】          「平和島競艇場護岸通路（東京都港湾局管理用通路）」の閉鎖部分を開放し、地域住民の安全性（避難通路の確保）及び快適性（散策路としての活用）の向上を図ります。</p>												
<b>事業概要</b>	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">1</td> <td style="vertical-align: top;">大森駅周辺地区まちづくり検討支援業務委託 (1)まちづくり計画案の具体化検討 (2)市街地再開発事業等に関する素案の検討</td> <td style="vertical-align: top; text-align: right;">1,352万円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2</td> <td style="vertical-align: top;">大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画検討業務委託  (1)都市計画道路(補助28号線)の事業化検討  <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路空間の構成要素の検討</li> <li>・事業用残地の整備方針検討</li> <li>・道路線形、縦断計画等の検討深度化</li> <li>・補助第33号線の整備方針検討</li> </ul>                     (2)自転車等駐車場の検討                      (3)関係機関、地域住民等協議資料作成(VR等)</td> <td style="vertical-align: top; text-align: right;">1,528万円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">3</td> <td style="vertical-align: top;">平和島競艇場護岸通路詳細設計作成委託 (1)測量業務 (2)設計業務</td> <td style="vertical-align: top; text-align: right;">502万円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">4</td> <td style="vertical-align: top;">消耗品</td> <td style="vertical-align: top; text-align: right;">11万円</td> </tr> </table>	1	大森駅周辺地区まちづくり検討支援業務委託 (1)まちづくり計画案の具体化検討 (2)市街地再開発事業等に関する素案の検討	1,352万円	2	大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画検討業務委託  (1)都市計画道路(補助28号線)の事業化検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路空間の構成要素の検討</li> <li>・事業用残地の整備方針検討</li> <li>・道路線形、縦断計画等の検討深度化</li> <li>・補助第33号線の整備方針検討</li> </ul> (2)自転車等駐車場の検討 (3)関係機関、地域住民等協議資料作成(VR等)	1,528万円	3	平和島競艇場護岸通路詳細設計作成委託 (1)測量業務 (2)設計業務	502万円	4	消耗品	11万円
1	大森駅周辺地区まちづくり検討支援業務委託 (1)まちづくり計画案の具体化検討 (2)市街地再開発事業等に関する素案の検討	1,352万円											
2	大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画検討業務委託  (1)都市計画道路(補助28号線)の事業化検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路空間の構成要素の検討</li> <li>・事業用残地の整備方針検討</li> <li>・道路線形、縦断計画等の検討深度化</li> <li>・補助第33号線の整備方針検討</li> </ul> (2)自転車等駐車場の検討 (3)関係機関、地域住民等協議資料作成(VR等)	1,528万円											
3	平和島競艇場護岸通路詳細設計作成委託 (1)測量業務 (2)設計業務	502万円											
4	消耗品	11万円											
<b>問合先</b>	担当課 <b>まちづくり推進部 都市開発課</b>												
	課長氏名 <b>大木 康宏</b> 電話 <b>5744-1454</b>												
	担当者氏名 <b>松島 愛一郎</b> 電話 <b>5744-1339</b>												

【2】魅力あるまちづくり（7）

<p><b>事業名</b></p>	<p>自転車等駐車場の整備ーストップ！放置自転車ー <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p><b>予算額</b></p>	<p><b>4億6,279万円</b></p>												
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>京急線連続立体交差事業、京急蒲田西口駅前地区再開発事業、糀谷駅前地区再開発事業等の進展に伴い、自転車等駐車場の整備し、大森町駅・梅屋敷駅・京急蒲田駅・雑色駅・糀谷駅周辺の自転車利用環境の改善に努め、「ストップ！放置自転車」を目指します。</p>												
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 京急線高架下都市計画自転車駐車場の整備          大森町駅1箇所、梅屋敷駅1箇所、京急蒲田駅2箇所、雑色駅1箇所、糀谷駅1箇所の合計6箇所の京急線高架下に自転車駐車場の整備するため、必要な手続きを行うとともに、基本・実施設計を実施していきます。          ☆整備予定台数 約4,000台（6箇所合計）</p>  <p style="text-align: center;">《完成イメージ図》</p> <p>2 京急蒲田駅周辺の自転車等駐車場の整備          京急蒲田駅では、京急線高架下に都市計画自転車駐車場の整備していきますが、それでもなお不足台数が生じる見込みのため、駅周辺の自転車駐車場の収容能力拡大等を図ります。          ① 産業プラザ自転車駐車場、京急蒲田駅東口自転車駐車場          現在 966台 → 整備後 約2,000台（2箇所合計）          ② 京急蒲田西口駅前地区再開発関係準備 約300台整備予定</p> <p>3 糀谷駅周辺の自転車等駐車場の整備          糀谷駅周辺では、空港線高架下の都市計画自転車駐車場の整備とともに、駅周辺の自転車駐車場の収容能力拡大等を図ります。          ① 糀谷駅前地区再開発関係準備 約800台整備予定          ② 糀谷駅前再開発に伴う西糀谷四丁目臨時自転車駐車場の移設工事</p>												
<p><b>問合せ</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td style="width: 35%;">都市基盤整備部</td> <td style="width: 35%;">都市基盤管理課</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>畑元 忠</td> <td><b>電話</b></td> <td>5744-1689</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>岡本 慎一</td> <td><b>電話</b></td> <td>5744-1315</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	都市基盤整備部	都市基盤管理課		<b>課長氏名</b>	畑元 忠	<b>電話</b>	5744-1689	<b>担当者氏名</b>	岡本 慎一	<b>電話</b>	5744-1315
<b>担当課</b>	都市基盤整備部	都市基盤管理課											
<b>課長氏名</b>	畑元 忠	<b>電話</b>	5744-1689										
<b>担当者氏名</b>	岡本 慎一	<b>電話</b>	5744-1315										

【2】魅力あるまちづくり（8）


<p><b>事業名</b></p>	<p>海辺の親水ネットワークの整備 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>2,868万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>羽田空港を臨む空港臨海部に、多くの人々が憩い、みどり豊かで水辺に親しめる拠点公園やスポーツ健康ゾーン、海辺沿いの散策路などを整備していきます。</p> <p>空港臨海部に水と緑の拠点を形成し、散策路整備によるネットワーク化を進めることで、「国際都市おおた」にふさわしい海辺の景観や潤いと賑わいのあるまちづくりを進めていきます。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 海上公園の移管整備 東京都港湾局から移管予定の昭和島北緑道公園について、空港臨海部の特色を踏まえた活用を検討し、再整備を進めるための基本計画を策定します。</p> <p>2 新スポーツ健康ゾーンの整備 大森ふるさとの浜辺公園において、水辺空間を活かしながら、年代や性別を超えて誰もがスポーツに親しめるレクリエーション拠点を整備するため、基本計画を策定します。</p> <p>3 海辺の散策路及び公共溝渠の整備 人々が四季を感じながら憩える親水緑道となるように、花壇整備などを行います。また、散策ルートと接する3か所の公共溝渠に関し、護岸端部の設計を行い、東京都と協力しながら防潮堤の整備を進めていきます。</p> <p>海辺の散策路工事 大森東五丁目14番から28番先 延長 約200m 公共溝渠護岸設計 貴船堀、旧呑川、南前堀の締切護岸</p> <p>[水辺のレクリエーション拠点イメージ] [海辺の散策路の整備例] (大森ふるさとの浜辺公園) (森ヶ崎海岸公園)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p><b>問合先</b></p>	<p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課</p> <p>課長氏名 臨海部基盤担当課長 伊熊 香里 電話 5744-1336</p> <p>担当者氏名 石橋 克巳 電話 5744-1678</p>

【2】魅力あるまちづくり（9）

<p><b>事業名</b></p>	<p>👤👤👤 <b>公園の整備</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>1億9,882万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>区内のみどりの機能拡充を図り、みどりの拠点を形成するため「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や、内陸部での新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。</p> <p>多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 拠点公園・緑地の整備</p> <p>都市化した大田区に残された貴重な樹林を保全し、豊かな緑を次世代に引き継いでいく公園づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶉の木松山公園（増設）（設計）</li> <li>・田園調布せせらぎ公園（工事）</li> <li>・佐伯山緑地（設計・工事）</li> </ul>  <p style="text-align: center;">鶉の木松山公園</p> <p>2 地域に根ざした公園・緑地の整備</p> <p>区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。</p> <p>(1) 設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲蒲田公園</li> <li>・多摩川台公園</li> <li>・道塚第三児童公園</li> <li>・古川児童公園</li> <li>・千鳥いこい公園</li> <li>・(仮称)南雪谷五丁目公園（休憩所等）</li> </ul> <p>(2) 工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和の森公園</li> <li>・本門寺公園</li> <li>・蒲田本町二丁目公園</li> <li>・馬込西公園</li> </ul>  <p style="text-align: center;">仲蒲田公園</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 <b>都市基盤整備部 建設工事課</b></p> <p>課長氏名 <b>石井 一雄</b> 電話 <b>6428-6280</b></p> <p>担当者氏名 <b>森下 太郎</b> 電話 <b>6428-6285</b></p>



【2】魅力あるまちづくり（10）

事業名	 空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等詳細調査
予算額	<u>1,088万円</u>
事業のねらい	<p>中央防波堤埋立地を含めた空港臨海部では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催支援を視野に入れながら、首都東京の国際競争力強化の視点を踏まえ、多様な産業集積をめざした適切な土地利用の誘導や工業地域における操業環境の改善、地域の特性を活かしたにぎわい・観光のまちづくりを進めます。また、円滑な交通ネットワークを構築します。</p>
事業概要	<p>1 空港臨海部のまちづくり（土地利用の誘導）</p> <p>空港臨海部は、羽田空港の再国際化によるにぎわいや2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック開催による海外との交流の場であり、日本の産業の先端的な技術開発を支える「ものづくり」の拠点です。平成24・25年度で実施した基礎調査を基に、空港臨海部の産業のあり方や空港・港湾に接する立地特性を活かした土地活用の誘導等について、にぎわい・観光の視点も踏まえながら地域との連携を積極的に図り具体化します。</p> <p>2 空港臨海部の交通ネットワークの拡充</p> <p>「空港臨海部グランドビジョン2030」及び平成24・25年度で実施した基礎調査を基に、空港臨海部のまちづくりと連動した道路網、公共交通機関、舟運等の交通ネットワークの拡充を図ります。また、国道357号の多摩川以南の整備促進を強く働きかけ、空港アクセス及び都市間交通の円滑化をめざします。</p>
問合先	担当課      まちづくり推進部      まちづくり管理課
	課長氏名      黒澤 明                      電話      5 7 4 4 - 1 3 3 1
	担当者氏名      渡部 正美                      電話      5 7 4 4 - 1 3 3 2

【2】魅力あるまちづくり（11）

<p>事業名</p>	<p><b>+</b> 中央防波堤埋立地の活用等にかかる調査 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;"><b>262万円</b></p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>中央防波堤埋立地の帰属については、羽田空港と東京港の一部を擁する大田区が、「陸・海・空」一体となったまちづくりを推進することで、大田区のみならず東京、日本の発展につながることを実証するため、帰属後の活用方策、メリット等を明確にする詳細な調査を行います。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>「おおた未来プラン10年」（後期）では、中央防波堤埋立地に係る帰属問題の早期解決に向け、区民、区議会、行政が一丸となった取り組みを進めて行くこととしています。</p> <p>中央防波堤埋立地の帰属問題は、大田区にとって重要な課題であり、大田区と同埋立地との関係は、これまでの歴史的背景やその経過、空港臨海部の将来構想から強く深いつながりがあることを示しています。</p> <p>大田区の地先である同埋立地は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、競技会場として利用される予定です。</p> <p>「空港臨海部グランドビジョン2030」に基づき「空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査」を実施し、中央防波堤埋立地の基礎調査を行っています。</p> <p>早期の帰属問題解決に向けては、歴史的背景に基づく主張のほか、羽田空港と東京港の一部を擁する大田区が、「陸・海・空」一体となったまちづくりを推進することの意義、効果を示すため、中央防波堤埋立地のポテンシャルを最大限に活かした将来の構想を検討する必要があります。</p> <p>当調査を通じて将来構想について、詳細な調査を行います。</p>												
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">区長政策室 政策課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>井上 隆義</td> <td>電話</td> <td>5744-1160</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>今井 正・上村 信貴</td> <td>電話</td> <td>5744-1189</td> </tr> </table>	担当課	区長政策室 政策課			課長氏名	井上 隆義	電話	5744-1160	担当者氏名	今井 正・上村 信貴	電話	5744-1189
担当課	区長政策室 政策課												
課長氏名	井上 隆義	電話	5744-1160										
担当者氏名	今井 正・上村 信貴	電話	5744-1189										



【2】魅力あるまちづくり（12）

<p><b>事業名</b></p>	<p>第四次都市計画道路優先整備路線事業化計画策定基礎調査 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>															
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>975万円</u></p>															
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>現在、当区では、東京都と特別区で策定した「区部における都市計画道路の整備方針」第三次事業化計画に基づき、都市計画道路の計画的な整備を行っています。目標年度が平成27年度となっている現計画に続き、28年度から開始される「第四次事業化計画」を策定するため基礎調査を実施します。</p>															
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 調査概要</p> <p>社会経済情勢の変化や首都東京が抱える道路整備の課題、目指すべき将来都市像を踏まえ、活力（都市再生と国際競争力の向上）、安全（安全で安心できるまちの実現）、環境（快適な環境の創出）、暮らし（生活の質の向上）の4つの基本目標に基づき、今後期待される都市計画道路の整備について、東京都や他区、関係部署等と調整を図りながら、第三次事業化計画の検証と第四次事業化計画に向けた優先整備路線の選定、区内道路ネットワークの将来像の検討等について基礎的な調査を行います。</p> <p>2 主な調査項目（予定）</p> <p>（1）道路ネットワークの将来構想の検討  （2）第三次事業化計画の検証  （3）第四次事業化計画優先整備路線の選定  （4）都市計画道路区域内における規制等の調査検討  （5）新たな整備手法等の検討</p>															
<p><b>問合先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">まちづくり推進部</td> <td>まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>黒澤 明</td> <td>電話</td> <td colspan="2">5744-1331</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>渡部 正美</td> <td>電話</td> <td colspan="2">5744-1332</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部			まちづくり管理課	課長氏名	黒澤 明	電話	5744-1331		担当者氏名	渡部 正美	電話	5744-1332	
担当課	まちづくり推進部			まちづくり管理課												
課長氏名	黒澤 明	電話	5744-1331													
担当者氏名	渡部 正美	電話	5744-1332													


【2】魅力あるまちづくり（13）

<p><b>事業名</b></p>	<p>大森駅東口エレベーター設置調査 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>412万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>大森駅東口のバリアフリー化を推進するため、エレベーター設置について調査・検討を行います。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>大森駅利用者が最も多く利用する東口には上りエスカレーターしかないため、自治会連合会や議会からエレベーター設置が強く要望されており、そのバリアフリー化は区として取り組むべき重要な課題となっています。</p> <p>平成25年6月には、バリアフリー法に基づく公共交通機関のバリアフリー化に関する国の指針である「移動等円滑化整備ガイドライン」が改定され、複数の経路のバリアフリー化や、最も一般的な経路のバリアフリー化等が盛り込まれました。</p> <p>区はこのガイドラインの改定も踏まえ、大森駅東口エレベーター設置について、計画策定に向けた調査、検討を行います。</p>
<p><b>問合先</b></p>	<p>担当課      まちづくり推進部    まちづくり管理課</p>
	<p>課長氏名    黒澤    明                      電話    5744-1331</p>
	<p>担当者氏名 田口   信夫                電話    5744-1303</p>

【2】魅力あるまちづくり（14）

<p><b>事業名</b></p>	<p>☺☺☺ 地域力を活かした公園施設の利活用の推進</p>																								
<p><b>予算額</b></p>	<p><b>835万円</b></p>																								
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>NPO 団体などの民間活力や地域力を活かし、公園施設の最小限の維持管理とみどりに関するソフト事業展開を一体的に行うことで、公園施設の有効活用を図り、公園の魅力を高めていきます。</p>																								
<p><b>事業概要</b></p>	<p>平和の森公園展示室では、地域力応援基金助成事業（ジャンプアップ助成）として NPO 団体と協力し、平成 24～25 年度にかけて、試行的に事業を実施してまいりました。26 年度からは、これらの取り組みを発展させ、本格的な展示室の有効活用を進めます。</p> <p>また、これまで花苗の育成や樹木の保管場所として利用してきた大森南圃場においては、大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」（23 年 3 月策定）に基づき、地域力を活かした再整備に向けて検討を行います。</p> <p>1 平和の森公園展示室業務委託</p> <p>誰もが気軽に展示室を利用できるよう、休憩スペースを設けます。また、公園の自然豊かな環境を活かし、子どもから大人まで楽しめる講座を実施します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="403 1099 879 1451">  <p>平和の森公園展示室・外観</p> </div> <div data-bbox="924 1099 1399 1451">  <p>平和の森公園展示室・休憩スペース</p> </div> </div> <p>2 大森南圃場活用基礎調査委託</p> <p>地域から親しまれる圃場の再整備に向けて、基礎調査を行い、今後の方向性を検討します。</p>																								
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 15%;">(上記 1)</td> <td style="width: 20%;">都市基盤整備部</td> <td style="width: 50%;">大森まちなみ維持課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記 2)</td> <td>都市基盤整備部</td> <td>都市基盤管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>(上記 1)</td> <td>保下 誠</td> <td>電話 5764-0626</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記 2)</td> <td>畑元 忠</td> <td>電話 5744-1689</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>(上記 1)</td> <td>志村 浩</td> <td>電話 5764-0643</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記 2)</td> <td>大橋 英一</td> <td>電話 5744-1304</td> </tr> </table>	担当課	(上記 1)	都市基盤整備部	大森まちなみ維持課		(上記 2)	都市基盤整備部	都市基盤管理課	課長氏名	(上記 1)	保下 誠	電話 5764-0626		(上記 2)	畑元 忠	電話 5744-1689	担当者氏名	(上記 1)	志村 浩	電話 5764-0643		(上記 2)	大橋 英一	電話 5744-1304
担当課	(上記 1)	都市基盤整備部	大森まちなみ維持課																						
	(上記 2)	都市基盤整備部	都市基盤管理課																						
課長氏名	(上記 1)	保下 誠	電話 5764-0626																						
	(上記 2)	畑元 忠	電話 5744-1689																						
担当者氏名	(上記 1)	志村 浩	電話 5764-0643																						
	(上記 2)	大橋 英一	電話 5744-1304																						

【2】魅力あるまちづくり（15）

<p><b>事業名</b></p>	<p>⚾ スポーツ施設の整備・充実 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>																
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>1億6,743万円</u></p>																
<p><b>事業の ねらい</b></p>	<p>大田スタジアムは、都内では数少ない全面人工芝の硬式野球ができる野球場で、高校野球予選や都市対抗野球など数多くの大会が開催されている、利用率の非常に高い施設です。</p> <p>外壁や放送設備、内野人工芝の張替えなど老朽化している部分の改修工事を行います。また、利用者の利便性向上に向けて、エレベーター設置を検討する基本設計委託を行い、施設の充実を図ります。</p>																
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 大田スタジアム外壁改修その他工事实施設計委託 大田スタジアム外壁面の塗装工事を施工し、長寿命化を図るため、平成26～27年度に実施設計委託を行います。</p> <p>2 大田スタジアムグラウンド内野人工芝張替工事 20年度の人工芝張替え後、5年が経過し、内野面は芝が薄い部分や繋ぎ目が裂けた場所が生じてきています。利用者の安全の確保と快適なグラウンド使用が行えるよう内野面の人工芝張替え工事を行います。グラウンド使用の少ない閑散期である27年1～2月に利用を休止し、張替工事を行う予定です。</p>  <p>3 大田スタジアムエレベーター設置工事等基本設計委託 エレベーターの設置を含む、大田スタジアムのユニバーサルデザイン化を進めるための基本設計委託を行います。</p> <p>4 放送設備改修工事 各種大会の運営中に、選手紹介や入場行進等で利用する放送設備が、老朽化により正常な動作に支障をきたしたため改修工事を行います。</p>																
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課・都市基盤管理課</p> <p>課長氏名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">建設工事課</td> <td style="width: 30%;">石井 一雄</td> <td style="width: 30%;">電話</td> <td style="width: 10%;">6428-6280</td> </tr> <tr> <td>都市基盤管理課</td> <td>杉村 克之</td> <td>電話</td> <td>5744-1306</td> </tr> </table> <p>担当者氏名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">建設工事課</td> <td style="width: 30%;">森下 太郎・瀬戸 程行</td> <td style="width: 30%;">電話</td> <td style="width: 10%;">6428-6285</td> </tr> <tr> <td>都市基盤管理課</td> <td>鈴木 隆広</td> <td>電話</td> <td>5744-1319</td> </tr> </table>	建設工事課	石井 一雄	電話	6428-6280	都市基盤管理課	杉村 克之	電話	5744-1306	建設工事課	森下 太郎・瀬戸 程行	電話	6428-6285	都市基盤管理課	鈴木 隆広	電話	5744-1319
建設工事課	石井 一雄	電話	6428-6280														
都市基盤管理課	杉村 克之	電話	5744-1306														
建設工事課	森下 太郎・瀬戸 程行	電話	6428-6285														
都市基盤管理課	鈴木 隆広	電話	5744-1319														

【3】観光・文化（1）

<p><b>事業名</b></p>	<p>鳳凰閣（旧清明文庫）－(仮称)勝海舟記念館の整備等 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>1,404万円</u></p>												
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>国登録有形文化財建造物である鳳凰閣（旧清明文庫）について、文化財施設を有効活用するために、施設整備に関する基本構想及び基本計画を策定します。</p>												
<p><b>事業概要</b></p>	<p>鳳凰閣（旧清明文庫）は平成12年に国登録有形文化財建造物として登録されました。洗足池公園の立地を活かし地域の歴史、文化、自然に配慮し公園と一体となった整備をしております。勝海舟ゆかりの歴史的建造物として勝海舟の足跡に触れることのできる施設となるよう、今年度は施設整備に関する基本構想及び基本計画を策定します。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※鳳凰閣（旧清明文庫）は、関東大震災の復興期に勝海舟の精神を基本に置きながら、図書の収集閲覧、学習、人材育成としての講義開催などを行う場として財団法人清明会が設置したものです。当時の教育施設に多用されたネオゴシック様式などを基調としたもので、昭和初期の時代を表す歴史的建造物です。</p>												
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td colspan="3">教育総務部 大田図書館</td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>山本 成俊</td> <td><b>電話</b></td> <td>3758-3471</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>五ノ井 巖暢</td> <td><b>電話</b></td> <td>3758-3471</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	教育総務部 大田図書館			<b>課長氏名</b>	山本 成俊	<b>電話</b>	3758-3471	<b>担当者氏名</b>	五ノ井 巖暢	<b>電話</b>	3758-3471
<b>担当課</b>	教育総務部 大田図書館												
<b>課長氏名</b>	山本 成俊	<b>電話</b>	3758-3471										
<b>担当者氏名</b>	五ノ井 巖暢	<b>電話</b>	3758-3471										

事業名	 洗足池公園の整備 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<u>6,152万円</u>
事業のねらい	<p>区内北部の緑豊かな住宅街に位置する洗足池公園において、公園東部の基本計画、洗足池にかかる木橋の三連太鼓橋「池月橋」の老朽化による架替工事の詳細設計、安全で使いやすい公園とするためのバリアフリー改修工事、洗足池の水質浄化施設修繕工事などを進めます。</p>
事業概要	<p>1 公園東部 基本計画  「鳳凰閣（旧清明文庫）」がある公園用地、勝海舟の墓所周辺、洗足池図書館周辺、中原街道周辺など、洗足池公園東部に残された貴重な文化遺産を保全し、豊かな緑を次世代に引き継いでいく公園づくりを進めます。  ・洗足池公園東部（設計）</p> <p>2 池月橋架替工事 詳細設計  地域から親しまれている、洗足池にかかる木橋の三連太鼓橋「池月橋」の老朽化により、架替工事の詳細設計を進めます。  ・池月橋（設計）</p> <div style="text-align: center;">  <p>洗足池公園 池月橋</p> </div> <p>3 バリアフリー改修工事  公園内の段差の解消、手すりの設置、だれでもトイレの整備など、だれもが利用しやすい公園に改良します。  ・洗足池公園（工事）</p> <p>4 水質浄化施設 整備工事  洗足池の水質を保全している水質浄化施設の老朽化により、建築物・電気設備の修繕工事を進めます。  ・水質浄化施設（工事）</p>
問合せ先	<b>担当課</b> 都市基盤整備部 建設工事課
	<b>課長氏名</b> 石井 一雄 <b>電話</b> 6428-6280
	<b>担当者氏名</b> (上記1~3) 森下 太郎 <b>電話</b> 6428-6285
	(上記4) 瀬戸 程行 <b>電話</b> 6428-6285


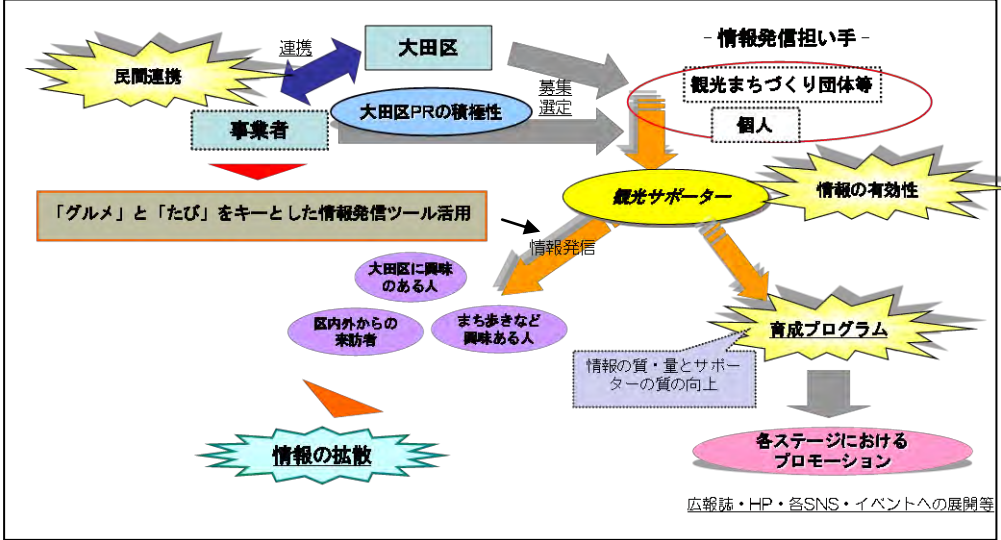


【3】観光・文化（3）


<p>事業名</p>	<p>👤 🚩 「花子とアン」（村岡花子）放映に伴う 大田区の文化・観光魅力の発信と賑わいの創出 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>																								
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;"><b>686万円</b></p>																								
<p>事業の ねらい</p>	<p>平成26年度前期のNHK連続テレビ小説は、大田区に住んで「赤毛のアン」を翻訳した村岡花子がモデルとなっています。 大田区はこれを契機として、区の観光及び文化のより一層のPRと地域の活性化を推進するため、自治会・町会、観光・文化・商業関係団体等で設立された推進委員会が実施する事業を支援します。</p>																								
<p>事業概要</p>	<p>推進委員会を構成する関係機関、その他の区内関係団体との連携により、村岡花子や「赤毛のアン」に関連したパンフレット等によるPR、パネル展示やシンポジウム等、地域おこしや観光・文化振興事業を支援します。 また、区内各関係機関が独自に実施するイベントや商品開発などの情報を収集し、大田区全体のさまざまな取り組みの一体性を持たせるようコーディネートしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光展示 村岡花子、赤毛のアンで紹介パネル・ポスター等の作成、関連備品等の借用・展示</li> <li>・PRグッズ製作 推進委員会企画によるPR媒体</li> <li>・まち歩き誘客イベント 回遊性を高めるためのマップ等の作成、各施設等のイベント支援</li> </ul>																								
<p>問合先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 35%;">地域振興部</td> <td style="width: 35%;">地域振興課</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>佐藤 一義</td> <td>電話</td> <td>5744-1217</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>西ヶ谷 順一</td> <td>電話</td> <td>5744-1226</td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td>産業経済部</td> <td>観光課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>青木 毅</td> <td>電話</td> <td>3733-6128</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>綱島 陽子</td> <td>電話</td> <td>3733-6190</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部	地域振興課		課長氏名	佐藤 一義	電話	5744-1217	担当者氏名	西ヶ谷 順一	電話	5744-1226	担当課	産業経済部	観光課		課長氏名	青木 毅	電話	3733-6128	担当者氏名	綱島 陽子	電話	3733-6190
担当課	地域振興部	地域振興課																							
課長氏名	佐藤 一義	電話	5744-1217																						
担当者氏名	西ヶ谷 順一	電話	5744-1226																						
担当課	産業経済部	観光課																							
課長氏名	青木 毅	電話	3733-6128																						
担当者氏名	綱島 陽子	電話	3733-6190																						

【3】観光・文化（4）

<p><b>事業名</b></p>	<p>特別展「あの頃、馬込は笑いに充ちていた－馬込文士村」（仮題） の開催 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>462万円</b></p>												
<p><b>事業の ねらい</b></p>	<p>郷土博物館では、平成21年度より3年計画で「馬込文士村関係資料地域資産化事業」をおこない、資料整理、目録作成、収蔵管理を終了しました。</p> <p>また、今年4月から9月にかけて放送される予定のNHK連続テレビ小説「花子とアン」では、馬込文士村の文士の一人である村岡花子（1893～1968）が取り上げられます。</p> <p>そこで、大森地域の文化資産である馬込文士村関係資料を広く総合的に区民に紹介し、地域資産化事業の総括をおこないます。そして、話題の村岡花子をはじめ、生誕120年の小島政二郎、吉田甲子太郎、生誕110年の今井達夫、佐多稲子、城左門、没後50年の尾崎士郎、三好達治等、文士たちを再発見する機会となることを、事業のねらいとします。</p>												
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 特別展の資料構成 大田区立郷土博物館所蔵の「馬込文士村コレクション」による展示をおこないます。</p> <p>2 特別展の特徴 当館の「馬込文士村コレクション」を広く周知するため、『馬込文士村ガイドブック』で紹介されている約40名の文士等を、中心人物であった宇野千代、尾崎士郎から始めて、その他の文士等は五十音順に紹介します。 常設展の馬込文士村コーナーの展示内容との関連を考慮して、普段展示されていない作品、自筆原稿、貴重な遺品などの資料を中心にとり上げます。</p> <p>3 会期 平成26年9月から10月にかけて約6週間の予定です。</p> <p>4 期間中の催し 著名な文士ゆかりのかたをお招きし、講演会を3回開催する予定です。</p> <p>5 関連する販売物 特別展展示図録、馬込文士村ガイドブック、馬込文士村散策マップ等を販売します。</p>												
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td colspan="3">教育総務部 大田図書館（郷土博物館）</td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>山本 成俊</td> <td>電話</td> <td>3758-3051（大田図書館）</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>窪田 哲也</td> <td>電話</td> <td>3777-1070（郷土博物館）</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	教育総務部 大田図書館（郷土博物館）			<b>課長氏名</b>	山本 成俊	電話	3758-3051（大田図書館）	<b>担当者氏名</b>	窪田 哲也	電話	3777-1070（郷土博物館）
<b>担当課</b>	教育総務部 大田図書館（郷土博物館）												
<b>課長氏名</b>	山本 成俊	電話	3758-3051（大田図書館）										
<b>担当者氏名</b>	窪田 哲也	電話	3777-1070（郷土博物館）										


事業名	 <b>民間連携による観光サポーター育成事業</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>												
予算額	<b>270万円</b>												
事業のねらい	<p>大田区エリアを PR する行政公認サポーター制度の創設とサポーターによるインターネット（WEB）を活用した継続的な情報発信のしくみを構築します。</p>												
事業概要	<p>大田区の地域の魅力をもっとも蓄積している、大田区民をはじめとした区に「ゆかり」のある方や観光まちづくり団体等を対象に、「観光サポーター」制度を創設します。</p> <p>観光サポーターには、大田区の観光情報の発信を主な任務として活動していただきます。また、情報発信のしかたやネタの探し方なども手ほどきします。サポーターには、情報発信の数や内容などによりポイントが貯まるなどのインセンティブを付与する制度も検討します。このことにより、楽しみながら継続的に情報発信できるサポーターの育成プログラムを構築します。</p> <p>また、「グルメ」と「たび」をテーマとした民間事業者の WEB サイトを活用して、サポーターによる情報発信の場を構築します。</p> <p>サポーターを継続的に募集、育成していくことにより、情報発信の質と量を確保し、効率的な情報発信と直接的に来訪に繋がる PR を行っていきます。</p> <p>&lt;事業イメージ図&gt;</p> 												
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td>産業経済部</td> <td>観光課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>青木 毅</td> <td>電話</td> <td>3 7 3 3 - 6 1 2 8</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>綱島 陽子</td> <td>電話</td> <td>3 7 3 3 - 6 1 9 0</td> </tr> </table>	担当課	産業経済部	観光課		課長氏名	青木 毅	電話	3 7 3 3 - 6 1 2 8	担当者氏名	綱島 陽子	電話	3 7 3 3 - 6 1 9 0
担当課	産業経済部	観光課											
課長氏名	青木 毅	電話	3 7 3 3 - 6 1 2 8										
担当者氏名	綱島 陽子	電話	3 7 3 3 - 6 1 9 0										

## 【3】観光・文化（6）



事業名	 <b>インバウンド誘致の促進事業</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>												
予算額	<b>371万円</b>												
事業のねらい	<p>台湾や東南アジアをはじめとした有望な訪日旅行市場に対して、観光プロモーションを実施することにより、現地における認知度の向上を図り、来訪機会の拡大を目指します。</p>												
<b>事業概要</b>	<p>※「インバウンド」とは、日本国外から入ってくる旅行者、つまり日本を訪れる外国人の旅行者を指します。</p> <p>「地域力」、「国際都市」をキーワードとしている大田区では、地域に点在する観光資源を活かして、より多くの外国人旅行者に大田区の魅力を感じて、訪日旅行の満足度を高めていただきたいと考えております。</p> <p>一方で、海外における大田区の知名度はまだ高くはなく、認知度の向上を図る必要があります。そこで、大田区ではより効果的な海外に向けての情報発信を行うため、平成25年度から、観光庁の「ビジットジャパン地方連携事業（以下：地方連携事業）」に参画しています。この事業では、国、羽田空港周辺の自治体及び民間事業者との連携により、訪日旅行需要の旺盛なアジア各国を対象に、海外で開催される旅行博への出展やファムトリップ等を実施しております。ファムトリップは、海外の旅行会社や観光メディアを大田区に招請して、観光の魅力を実際に体感して、後の観光商品造成を目的とするものです。</p> <p>26年度は継続して地方連携事業に参画するとともに、WEBを活用した情報発信を強化して、より広い対象への訴求を図ることにより、海外における認知度のさらなる向上を目指します。</p> <p>〔1〕 ビジットジャパン地方連携事業への参画  〔2〕 海外旅行博への出展  〔3〕 国内旅行博への出展  〔4〕 メディアを活用した海外情報発信  〔5〕 インバウンド誘致向けPRツール作成  〔6〕 TCVB（東京観光財団）セールスコールの活用</p>												
<b>問合せ先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td style="width: 35%;">産業経済部</td> <td style="width: 15%;">観光課</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>青木 毅</td> <td><b>電話</b></td> <td>3733-6128</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>綱島 陽子</td> <td><b>電話</b></td> <td>3733-6190</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	産業経済部	観光課		<b>課長氏名</b>	青木 毅	<b>電話</b>	3733-6128	<b>担当者氏名</b>	綱島 陽子	<b>電話</b>	3733-6190
<b>担当課</b>	産業経済部	観光課											
<b>課長氏名</b>	青木 毅	<b>電話</b>	3733-6128										
<b>担当者氏名</b>	綱島 陽子	<b>電話</b>	3733-6190										

【3】観光・文化（7）



<p><b>事業名</b></p>	<p>川崎市との産業連携に関する 基本協定締結に伴う連携事業の開催等 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><b>648万円</b></p>
<p><b>事業の ねらい</b></p>	<p>大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定（平成25年4月24日付け締結）に基づく、企業間の連携及び観光・商業の連携事業を実施します。 企業間連携では、「企業交流会」を実施し、両者が持つ高い技術集積を活かして、中小企業の交流・マッチングなどの連携を促進し、技術の高度化や更なるイノベーションの創出を図ります。観光連携では、両者が持つ地域資源や歴史資源を活かして、自治体の連携ならではの事業を共同で実施します。両自治体間で広域連携をすることで、新たな観光客の集客につながる観光施策を展開していきます。商業連携では、「大田区と川崎市との共同銭湯マップ」を作成し、公衆浴場の確保支援につなげます。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 産業連携事業「企業交流会」 4万円 大田区と川崎市の若手企業経営者同士が交流することにより、取引促進を図るとともに、双方の地域経済の活性化に貢献します。</p> <p>2 観光イベント 324万円 (1) 旧東海道ウォーキングイベント 大田区・川崎市内の旧東海道を歩き、旧東海道の史跡や観光スポットを再発見していただくウォーキングイベントです。 (2) ハシゴ食べ呑み手形 大田区・川崎市内の飲食店を「食べる・呑む」しながら歩ける割引特典などが付いた手形（マップ付）を発行し、地域内を回遊していただくイベントです。地元の名品や物産もあわせて堪能していただきます。 (3) お土産品開発プロジェクト 大田区・川崎市が連携して、それぞれの地域資源等を素材として新たな商品（お土産品）を共同開発し、販売につなげるプロジェクトです。中小企業者や商店、学生など両自治体の関係者が参画することで自治体間交流と地元の魅力の再発見につなげます。</p> <p>3 公衆浴場事業における川崎市との共同事業実施 320万円 現在、大田区と川崎市では各々銭湯マップを作成していますが、26年度は共同銭湯マップを作成し、利用者へのPRを図ります。 また、その銭湯マップを利用した共同銭湯スタンプラリーを実施します。</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 産業経済部 産業振興課・観光課</p> <hr/> <p>課長氏名 産業振興課 浜口 和彦 電話 3733-6124 観光課 青木 毅 電話 3733-6128</p> <hr/> <p>担当者氏名 産業振興課 門馬 剛 電話 3733-6184 観光課 綱島 陽子 電話 3733-6190</p>

事業名	 <b>国際都市事業の推進</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<b>298万円</b>
事業のねらい	<p>大田区基本構想の将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向け、区民への機運の醸成や区の理念を区内外にわかりやすく発信する施策の展開を図ります。</p>
事業概要	<p>1 （仮称）区民有識者会議の開催 <span style="float: right;">40万円</span>  区民、有識者等が大田区のめざす「国際都市おおた」を話し合う会議を開催することで、大田区らしい国際都市像のイメージの共有化を区民とともに図ります。</p> <p>2 18色の国際都市事業の支援 <span style="float: right;">54万円</span>  18特別出張所管内の地域団体と区が連携し各地域の独自性を活かした国際都市事業の取り組みを支援することにより、「国際都市おおた」推進に向けた機運の醸成を図ります。</p> <p>3 （仮称）「国際都市おおた」シンポジウムの開催 <span style="float: right;">128万円</span>  国際的に著名な講師と各界で活躍するパネリストが大田区の目指す国際都市像を語り合うことにより、「国際都市おおた」の存在感を区内外に示す契機とします。</p> <p>4 「国際都市おおた」啓発・広報活動 <span style="float: right;">77万円</span>  区民向けのイベント等の開催や啓発・広報活動をととして大田区が「国際都市おおた」を標榜する意義や国際都市像の方向性を示し、「国際都市おおた」実現に向けた区民の意識向上を図ります。</p>
問合先	<b>担当課</b> 地域振興部 地域振興課
	<b>課長氏名</b> 国際都市担当課長 飯嶋 清市 電話 5744-1719
	<b>担当者氏名</b> 大塚 栄司 電話 5744-1227

【3】観光・文化（9）

事業名	  観光マーケティング調査 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<u>1, 647万円</u>
事業のねらい	「おおた未来プラン10年」の目標である「大田区の『知る人ぞ知る魅力』を区内外からの来訪者に発信する」を達成し、東京オリンピック・パラリンピックの開催等社会情勢に対応した大田区独自の観光施策を推進していくため、観光関連データの収集・分析や来訪者の動向把握、事業効果検証を行います。
事業概要	外国人も含めた来訪者対象のアンケート調査や来訪者数を把握するためのカウント調査、宿泊施設に特化した宿泊客への調査を行い、観光関連データ（交通、宿泊、施設等）の収集を図ります。また、GPSを活用し、区内における回遊や区外自治体との流出入等動向についても把握します。
問合せ先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 綱島 陽子 電話 3733-6190

【3】観光・文化（10）

事業名	  大田区観光案内サイン推進事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<u>1, 261万円</u>
事業のねらい	多言語表記でユニバーサルデザインに配慮した観光案内サインを設置することにより、外国人を含む来訪者の快適な周遊を推進します。
事業概要	来訪者の回遊性を高めるため、大田区では、これまでに蒲田・大森・羽田エリアなどに、多言語表記でユニバーサルデザインに配慮した観光案内サインを設置してまいりました。平成26年度は、池上本門寺や池上梅園など、魅力ある観光資源を有する池上エリアに観光案内サインの設置を予定しております。
問合せ先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 綱島 陽子 電話 3733-6190

【3】観光・文化（11）


<p><b>事業名</b></p>	<p>散策路サインの整備・拡充 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>474万円</u></p>												
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>区民や観光客が、呑川緑道や桜のプロムナードを楽しみながら散策でき、地域に親しみを感じられるよう、観光スポットや身近な自然、地域の歴史などの情報を取り入れたサインの整備・拡充を進めます。</p>												
<p><b>事業概要</b></p>	<p>区では、これまでも散策路におけるサインを整備してきましたが、区民の健康増進や観光、ユニバーサルデザインなどの視点から、サインの拡充を図ります。</p> <p>平成26年度は、「大田区サイン整備基本計画」（23年2月策定）を踏まえ、基本設計を行います。</p> <p>&lt;基本設計概要&gt;</p> <p>対象：呑川緑道及び桜のプロムナード</p> <p>内容：施設配置の検討、整備計画の作成、概算工事費の算出など</p> <p style="text-align: center;">【桜のプロムナード】</p>  <p style="text-align: center;">【呑川緑道】</p>   <p style="text-align: center;">【サイン(イメージ)】</p>												
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">都市基盤整備部 都市基盤管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>畑元 忠</td> <td>電話</td> <td>5744-1689</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>大橋 英一</td> <td>電話</td> <td>5744-1304</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課			課長氏名	畑元 忠	電話	5744-1689	担当者氏名	大橋 英一	電話	5744-1304
担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課												
課長氏名	畑元 忠	電話	5744-1689										
担当者氏名	大橋 英一	電話	5744-1304										



【4】産業・環境（1）

<p><b>事業名</b></p>	<p>区内製造業と商店街の実態調査 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>8,968万円</u></p>
<p><b>事業の ねらい</b></p>	<p>製造業については、区内ものづくり企業の集積維持・発展を図る有効な施策を立案するため、調査を実施します。</p> <p>商店街については、顧客に求められる新しい商店街を運営していくために、商店街や商業事業者、区内消費者の実態について調査・分析します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 大田区製造業に関する調査 <span style="float: right;">4,968万円</span></p> <p>リーマンショック以降、大田区製造業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。この時期において、ものづくり企業の実情を把握することは、今後の施策を検討していく上で、喫緊の課題となっています。</p> <p>しかし、大田区の産業施策の基礎データとなっていた国の工業統計調査は、全数調査を平成20年以降実施していないため、その調査結果は実情を正確に反映できていません。</p> <p>このことから、区独自項目（調査のポイント）を加えた調査を実施し、状況に即した施策を検討していきます。</p> <p>○調査対象・方法 区内の製造業の全事業所を対象としたアンケート及びヒアリング</p> <p>○調査のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基盤技術集積の受発注構造の変化を把握</li> <li>・ 事業継続、事業承継の実態と見通しの把握</li> <li>・ 研究開発型ファブレス（※）企業の動向把握</li> <li>・ 区内企業のマーケットの把握</li> </ul> <p style="text-align: center;">※ 製品の企画設計や開発は行うが、自社工場は所有せず、製造自体は他社に委託し、出来上がった製品を自社製品として販売する会社。</p> <p>2 商店街調査事業 <span style="float: right;">4,000万円</span></p> <p>区内の多くの商店街では、店主の高齢化や後継者不足、店舗の住宅化など商店街の基盤を揺るがす課題に直面しています。商業事業者も厳しい経営環境にさらされており、商店街に求められる役割も変化してきています。そこで、地域のコミュニティの核となり、顧客に求められる新しい商店街を運営していくために、商店街や商業事業者、区内消費者の実態について調査・分析し、今後の経営方針について提示していきます。</p>

	<p>(1) 商店街基礎調査 商店会長からのヒアリング、及び個店へのアンケート調査により、後継者や空き店舗の状況など商店街の実態を把握します。</p> <p>(2) 購買行動調査 区内消費者の購買意識、購買行動に関する調査、及び商業事業者の経営実態調査、競合調査を実施し、今後の商店街及び商業事業者の経営の方向性について分析、提示します。</p> <p>本調査は、顧客志向の新しい商店街像を検討し、事業化していくための3か年計画（平成26～28年度）の一部です。3か年計画は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目－商店街基礎調査及び購買行動調査を実施し、商店街及び商業事業者の経営の方向性について提示します。</li> <li>・2年目－上記の調査結果をもとに事業意欲の高い商店街をモデル商店街として選定し、勉強会などを通じて事業計画のサポートを行います。</li> <li>・3年目－上記の事業計画をもとに商店街での事業を実施します。</li> </ul>											
<b>問合先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td colspan="3">産業経済部 産業振興課</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	産業経済部 産業振興課									
	<b>担当課</b>	産業経済部 産業振興課										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>課長氏名</b></td> <td style="width: 40%;">浜口 和彦</td> <td style="width: 15%;"><b>電話</b></td> <td style="width: 30%;">3 7 3 3 - 6 1 2 4</td> </tr> </table>	<b>課長氏名</b>	浜口 和彦	<b>電話</b>	3 7 3 3 - 6 1 2 4							
	<b>課長氏名</b>	浜口 和彦	<b>電話</b>	3 7 3 3 - 6 1 2 4								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当者氏名</b></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記1) 吉崎 彰・吉村 周吾</td> <td><b>電話</b></td> <td>3 7 3 3 - 6 1 8 3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記2) 門馬 剛</td> <td><b>電話</b></td> <td>3 7 3 3 - 6 1 8 4</td> </tr> </table>	<b>担当者氏名</b>					(上記1) 吉崎 彰・吉村 周吾	<b>電話</b>	3 7 3 3 - 6 1 8 3		(上記2) 門馬 剛	<b>電話</b>	3 7 3 3 - 6 1 8 4
<b>担当者氏名</b>												
	(上記1) 吉崎 彰・吉村 周吾	<b>電話</b>	3 7 3 3 - 6 1 8 3									
	(上記2) 門馬 剛	<b>電話</b>	3 7 3 3 - 6 1 8 4									


事業名	 区内企業の海外取引拡大支援
予算額	<u>3,621万円</u>
事業のねらい	<p>1 国際的な海外見本市に（公財）大田区産業振興協会が大田区中小製造業と共同出展して、大田区の持つ高度技術力を PR するとともに、海外における取引拡大を推進します。</p> <p>2 海外展開を目指す区内中小企業に対して、国際化の度合いに応じてステップを踏んで海外取引の拡大や海外企業との連携を支援します。対象地域は、従来の中国、ASEAN 諸国に加えて欧州も積極的に市場開拓します。</p>
事業概要	<p>1 海外見本市への出展支援 <span style="float: right;">1,374 万円</span></p> <p>(1) 欧州市場展開</p> <p>ドイツにおける医療関連展示会「COMPAMED2014」に（公財）大田区産業振興協会が大田区中小製造業と共同出展します。同展示会は、医療における周辺部材や加工技術に関する展示会であり、昨年の初出展では大田区企業へ多くの引合案件があり、すでに数件は実際に取引成約に向けて動き出しています。</p> <p>(2) ASEAN 市場展開</p> <p>成長を継続する ASEAN 諸国の市場においては、タイにおける機械加工展示会「METALEX2014」とベトナムにおける金属加工展示会「MTA Vietnam2014」に出展します。タイの展示会はすでに 13 回目の出展となり大田区の集合工場オオタ・テクノ・パークの存在とともに、ASEAN における大田区工業技術のプレゼンスは高く、大きな信頼を得ています。ベトナムの展示会は今回初出展となり、次の生産拠点としての調査も行う計画です。</p> <p>(3) 中国市場展開</p> <p>経済の急成長も一段落した感がある中国市場に対しては、区内企業からの進出目的の相談案件も減少しつつあり、大田区中小企業が「居ながら海外展開」に取り組めるよう、商談会形式の展示会「日中モノづくり展示商談会@上海」等に出展します。</p> <p>その他、台湾を経由した中国市場展開を推進するため、大田区産業振興協会と産業連携の覚書を交わしている台湾工業技術研究院の運営する知的財産関連の展示会「台湾テクノマート」に出展します。</p>

	<p>2 海外取引相談（グローバルネットワーク支援） 2,246 万円</p> <p>(1) スイス・ヴォー州との産業連携の推進  昨年より産業連携を推進しているスイス・ヴォー州と、さらに踏み込んだ事業を展開します。同州が保有するベンチャー企業等のための産業支援施設「Y-PARC」内に大田区中小企業が短期間（1 か月程度）現地の市場調査等を無料で行える事務所の提供を受けるとともに、施設内に大田区の工業技術を紹介するパネルを設置します。</p> <p>(2) 海外向け大田区企業名簿の作成  海外企業との取引拡大をさらに進めるために、英文版の大田区企業名簿「Company Profile of Ota City」を作成して、国内外の展示会における大田区ブースや大田区産業プラザを訪問する海外からのビジネスパーソンに配布します。</p> <p>(3) 欧州市場開拓員の設置  欧州からより多くの研究開発に係る産業テーマを大田区へ取り集めるために、外部の専門家を欧州市場開拓員として業務委託契約するとともに、大田区産業振興協会職員を現地へ派遣して取引支援策の強化に繋がります。</p>
問合先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 浜口 和彦 電話 3 7 3 3 - 6 1 2 4
	担当者氏名 吉崎 彰 電話 3 7 3 3 - 6 1 8 3


【4】産業・環境（3）

<p><b>事業名</b></p>	<p>チャレンジ企業応援資金の創設 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>						
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>1,056万円</u></p>						
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>厨房設備・機械設備・輸送用機械などの設備資金や競争力強化に取り組むための運転資金を必要とする区内事業者を対象とします。本資金は区が全額利子補給することにより、実質的には無利子で事業融資を金融機関にあっせんします。経営改善に向けチャレンジするための資金調達を容易にすることで、区内産業の更なる活性化・競争力強化を図ります。</p>						
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 実施期間 平成26年4月1日から平成28年3月31日まで</p> <p>2 融資詳細          (1) 融資限度額 3,000万円          (2) 返済期間 108か月以内（据置6か月以内を含む）          (3) 表面利率 1.5%          (4) 利子補給率 1.5%          (5) 本人負担率 なし（全額利子補給）          (6) 資金使途 運転・設備資金</p> <p>3 融資あっせん要件          (1) 融資あっせん対象の基本要件を備えていること。区内に営業実態のある住所（個人にあっては住民登録地、法人にあっては登記上の本店所在地）または主たる事業所を1年以上有し、同一事業を原則として同一場で引き続き1年以上営んでいること。          (2) 前決算期において営業利益が出ていること、または前期決算の赤字幅が前々期決算と比較して減少していること。          (3) 経営改善・向上を資金使途とした以下の設備・運転資金であること。          ア 近代化や省エネ化を目的とした機械設備、情報システム等の導入資金          イ 区内店舗の新設・改装・バリアフリー化に要する資金          ウ 新製品・新技術開発に要する資金          エ 事業多角化に要する資金          オ その他経営改善・向上につながる資金で区が承認する資金</p> <p>※この融資あっせんは、中小企業診断士が経営診断を行い決定します。融資実行後に事後診断を行い、継続して経営指導を受けることを条件とします。</p>						
<p><b>問合先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td>産業経済部 産業振興課</td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>浜口 和彦 電話 3733-6124</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>佐野 憲一 電話 3733-6185</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	産業経済部 産業振興課	<b>課長氏名</b>	浜口 和彦 電話 3733-6124	<b>担当者氏名</b>	佐野 憲一 電話 3733-6185
<b>担当課</b>	産業経済部 産業振興課						
<b>課長氏名</b>	浜口 和彦 電話 3733-6124						
<b>担当者氏名</b>	佐野 憲一 電話 3733-6185						

【4】産業・環境（4）

<b>事業名</b>	 <b>商店街活性化のための新事業</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
<b>予算額</b>	<u>1,335万円</u>
<b>事業のねらい</b>	<p>商店街の重要課題とされている後継者や空き店舗問題等について、以下の新事業を実施し、取り組みを強化することで商店街の活性化に繋がります。</p>
<b>事業概要</b>	<p>1 若手商人支援事業 <span style="float: right;">600万円</span>          商店街の枠にとらわれず、人と人との新しいネットワーク作りを支援するため、商店街の女性や若手会員の有志が、地域の問題解決や商店街振興に繋がる事業を考え実施する場合は、対象経費の一部を助成します。          また、商店街の若手会員や女性会員を対象とした勉強会を開催します。</p> <p>2 商店街PR事業 <span style="float: right;">500万円</span>          商店街の情報発信の強化として行っているホームページや携帯電話、メールマガジンその他メディアを活用した情報発信のほか、情報誌の発行など商店街の継続的なPRに繋がる事業について、対象経費の一部を助成します。          また、商店街の認知度向上や利用促進を図るため、年間5回以上継続して実施する小規模販売促進事業について、対象経費の一部を助成します。</p> <p>3 空き店舗対策事業 <span style="float: right;">35万円</span>          大田区の空き店舗情報を収集し、ホームページで商店街の魅力や特徴を伝える等、区内外に広く情報発信を行います。          また、店舗の開業希望者を区内外から募集し、専門家による店舗開業講座や、空き店舗及び商店街の現地視察会を開催します。</p> <p>4 買い物弱者支援事業 <span style="float: right;">200万円</span>          「新・元気を出せ！商店街事業（活性化事業）」のうち、買い物弱者支援と認められる宅配や移動販売車等の事業に対し、商店街の負担となる補助対象経費の自己負担分について上乗せで助成をします。</p>
<b>問合せ先</b>	<b>担当課</b> 産業経済部 産業振興課
	<b>課長氏名</b> 浜口 和彦 <b>電話</b> 3733-6124
	<b>担当者氏名</b> 門馬 剛 <b>電話</b> 3733-6184


【4】産業・環境（5）

<b>事業名</b>	 医工連携支援事業—コンサルティング業務委託												
<b>予算額</b>	<b>486万円</b>												
<b>事業のねらい</b>	<p>市場拡大が期待されている医療機器分野においては、これまで医療機関や研究機関との連携による新製品開発・製造について支援してきましたが、新たに医療機器製造販売企業との連携により販路確保を図ることによって、区内製造業の医療機器産業分野への進出を推進します。</p>												
<b>事業概要</b>	<p>1 試作開発支援              医療機関のニーズを把握し、区内中小企業のシーズと適切なマッチングを行い、試作品市場の拡大と販路確保を図ります。関係機関との知財の競合関係についても適切な指導・支援を行います。その後、量産化へ進展する場合にも、継続したサポートを行います。</p> <p>2 許可・承認等取得手続き支援              自動車産業等で長年蓄積された高い技術力を持った企業が、医療機器分野に新規参入して自社製品を製造する際に、最も大きな障壁となる医療機器製造販売許可取得や医療機器の承認取得手続等を支援します。</p> <p>3 医療機器製造販売企業との連携支援              中小企業の医療機器分野進出に伴う困難な問題（許可取得や医療機器承認に要する多額の費用・生命身体に係る重大な製造物責任等）を回避するため、医療機器製販企業（製造販売許可を持ち、製品の承認費用・製造物責任を負う。）との連携をサポートし、製販企業との共同開発による安全・確実な医療機器分野参入を図ります。</p>												
<b>問合先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">産業経済部 産業振興課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>浜口 和彦</td> <td>電話</td> <td>3733-6124</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>吉崎 彰</td> <td>電話</td> <td>3733-6183</td> </tr> </table>	担当課	産業経済部 産業振興課			課長氏名	浜口 和彦	電話	3733-6124	担当者氏名	吉崎 彰	電話	3733-6183
担当課	産業経済部 産業振興課												
課長氏名	浜口 和彦	電話	3733-6124										
担当者氏名	吉崎 彰	電話	3733-6183										

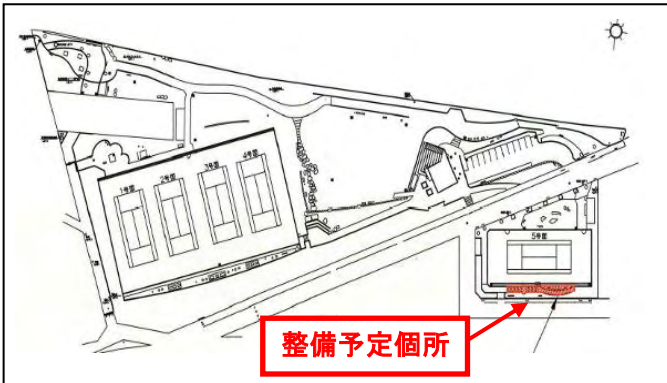


<b>事業名</b>	有用金属の資源化の取組み
<b>予算額</b>	1,239万円
<b>事業のねらい</b>	<p>小型家電等に含まれる貴金属・レアメタル等がリサイクルされずに埋め立てられている状況に鑑み、再資源化促進の措置を講じ、廃棄物の適正な処理及び資源の有効活用を図ります。これにより、資源確保、廃棄物減量化、循環型社会の形成を推進します。回収した小型家電等は、国が指定する認定事業者に売却し、国内でリサイクルされます。</p>
<b>事業概要</b>	<p>平成26年度は、次の3手法により、小型家電等を回収します。</p> <p>1 ピックアップ回収 1,096万円 粗大ごみの中から小型家電や金属類を抽出します。 【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大森清掃事務所管内で収集された粗大ごみ</li> <li>・蒲田清掃事務所管内で収集された粗大ごみ</li> <li>・自己持ち込みされた粗大ごみ</li> </ul> <p>2 拠点回収 144万円 区内26ヶ所に回収ボックスを常設して小型家電を回収します。 【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所本庁舎</li> <li>・大森及び蒲田駅周辺駐輪場 3ヶ所</li> <li>・特別出張所 18ヶ所</li> <li>・清掃事務所及び清掃事業所 4カ所</li> </ul> <p>3 イベント回収 区内で開催されるイベントにおいて、区民への啓発を行う中で回収します。 【対象イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OTAふれあいフェスタ</li> <li>・エコフェスタワンダーランド</li> <li>・環境フェア</li> </ul> <p>回収した小型家電等は、認定事業者に売却します。</p>
<b>問合せ先</b>	担当課 環境清掃部 環境清掃管理課
	課長氏名 佐藤 恵美子 電話 5744-1631
	担当者氏名 池田 真司 電話 5744-1628



【4】産業・環境（7）

<p><b>事業名</b></p>	 <p>18色の緑づくり支援</p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><b>640万円</b></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>地域力の基盤である18の特別出張所管内のまちの個性を、地域住民の連帯と協働の象徴として、地域の花や木のような「まちの緑」で表現し、18色の緑のまちづくりへの機運が高まるよう地域の取り組みを支援します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>「地域の花」を育てていただき、18色の緑を用いてまちを彩り、地域力を活かしたまちづくりを応援します。</p> <p>1 花の種等の配付 490万円</p> <p>18 特別出張所の地域ごとに、地域の緑づくりの実施組織を通じて自治会・町会、諸団体（商店会、老人クラブ、ふれあいパーク活動団体など）や地域内の区民へ「地域の花」の種等を配付します。</p> <p>花は道路などから見えるところで育てていただきます。そして、花の写真や地域のみなさんの活動記録、感想などを区のホームページや特別出張所区民ギャラリーでの掲示、観光協会との連携によるPR等により「まちの緑」や「地域の花」を広めます。</p> <p>2 育成支援 150万円</p> <p>必要に応じて、18色の緑づくり実施組織で育成に携わる方に対して講習会と出張指導を実施し、花の育成だけでなく、花を育てる人を育てるような支援をし、継続して取組んでもらえるようにして、地域全体での緑への関心を高めます。</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 環境清掃部 環境保全課</p> <p>課長氏名 岩田 美恵子 電話 5744-1361</p> <p>担当者氏名 阿部 康克 電話 5744-1366</p>

<p><b>事業名</b></p>	<p>呑川水質浄化対策の推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>5,288万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>スカムや悪臭の発生が課題となっている呑川の中流域の水質を改善するため、浄化施設や河床整正などによるスカム対策、悪臭対策などを推進します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>呑川の水質は、表層のBOD（生物化学的酸素要求量）などの環境基準はおおむね満たしています。しかし、DO(溶存酸素量)については、中流域の底層において環境基準の2mg/L以上を達成できず、特に夏場にスカムや悪臭が発生し、より一層の水質改善に取り組む必要があります。</p> <p>呑川の水質浄化を推進するためには、浄化施設や河床整正などの河川対策をはじめ、下水道対策や流域対策等も含めた総合的な対策に取り組む必要があります。短期的な対策として、河床整正計画、既存ジェットストリーマーの機能強化を含めた更新及びスカム発生時の局所対応を実施します。</p> <p>1 河床整正計画          呑川の水質改善対策の一施策である河床整正の実施に向けて、音響測深機等を用いた縦断・横断測量を行い、河床整正工事の暫定計画を策定します。また、水質悪化の原因となる汚濁物質（河床に堆積した汚泥など）もあわせて除去できる施工方法について検討します。</p> <p>①測量調査          ②河床整正暫定計画          ③施工方法の選定</p> <p>2 スカム対策（スカム発生抑制装置更新など）          既存のスカム発生抑制装置（ジェットストリーマー）は平成11年度に設置されており、老朽化が著しく更新時期を迎えています。そのため、既存のうちの1基を更新し、また、夏場のオイルフェンスに滞留するスカムの臭気がひどいことから、オイルフェンスに滞留するスカムをバキュームで除去します。</p> <div data-bbox="976 1189 1433 1527" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">スカム発生状況（H25.8 太平橋上流付近）</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課          （上記1） 都市基盤整備部 都市基盤管理課          （上記2） 都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課</p> <p>課長氏名          （上記1） 畑元 忠 電話 5744-1689          （上記2） 高橋 義博 電話 5713-2005</p> <p>担当者氏名          （上記1） 藤澤 康文 電話 5744-1304          （上記2） 榊原 健司 電話 5713-2007</p>

<p><b>事業名</b></p>	<p>☺☺☺ 多摩川ふれあいの場の整備 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>						
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>661万円</b></p>						
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>多摩川で活動する関係団体等と連携しながら、「水辺の楽校」をはじめ、区民が多摩川に親しみながら自然体験や相互交流等を図れるような事業を支援していきます。</p>						
<p><b>事業概要</b></p>	<p>「羽田水辺の楽校」の支援</p> <p>本羽田公園前面の多摩川大師橋干潟では現在、複数の近隣小学校を対象に、干潟の生きもの観察会やどろんこ体験教室などが幅広く開催されています。</p> <p>このような環境学習に要する道具置場などの整備や既存展望台のリニューアル工事を行うことで、地域における主体的な活動を促進し、多摩川という水辺空間を活かした「ふれあいの場」を整備します。</p> <p>（「うのき水辺の楽校」についても、引き続き支援を検討・調整しています。）</p> <p>整備箇所 本羽田三丁目 29 番先 本羽田公園内</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">[「羽田水辺の楽校」の活動風景]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td>都市基盤整備部 都市基盤管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>臨海部基盤担当課長 伊熊 香里 電話 5744-1336</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>石橋 克巳 電話 5744-1678</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課	課長氏名	臨海部基盤担当課長 伊熊 香里 電話 5744-1336	担当者氏名	石橋 克巳 電話 5744-1678
担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課						
課長氏名	臨海部基盤担当課長 伊熊 香里 電話 5744-1336						
担当者氏名	石橋 克巳 電話 5744-1678						

【4】産業・環境（10）

<p><b>事業名</b></p>	<p>区内工場集積の維持・強化のための 工場立地・操業環境整備助成事業</p>
<p><b>予算額</b></p>	<p>1億9,879万円</p>
<p><b>事業の ねらい</b></p>	<p>区内ものづくり企業が事業規模の拡張や操業環境の整備のために行う工場の新增設に係る経費、他都市の企業が区内で操業開始する場合や新たに拠点を設置する場合などに係る経費の一部を支援することにより、産業集積の維持・発展を図ります。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>ものづくり工場立地助成  <b>【対象者】</b>          区内で3年以上継続して同一の製造業を営む中小企業者、区外で3年以上継続して区が定める製造業を営み区内での操業を希望する中小企業者、区内の貸工場所有者  <b>【助成率】</b>          助成対象経費の1/3  <b>【助成限度額】</b>          1,000万円  <b>【助成期間】</b>          3年          (年度ごとに操業状況を確認し、交付決定。1年目1/2、2年目1/4、3年目1/4)</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 産業経済部 産業振興課          課長氏名 浜口 和彦 電話 3733-6124          担当者氏名 吉崎 彰 電話 3733-6183</p>

【5】子育て・教育（1）

<p><b>事業名</b></p>	<p>待機児童対策の拡充 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>																
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>26億7,103万円</u></p>																
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>待機児解消の取り組みを加速するため、平成27年4月から施行予定の「子ども・子育て支援新制度」を見据え、330人の保育サービス定員増を図るとともに、地域の保育ニーズを踏まえた多様な保育サービスを提供していきます。</p>																
<p><b>事業概要</b></p>	<p>賃貸物件を活用した認可保育所、認証保育所の開設支援を進めるとともに、老朽化に伴う区立保育園の改築により定員を拡充します。また、新制度の先取りとなるスマート保育、多様な就労形態等に対応した定期利用保育事業のほか、グループ保育室の開設を中心に家庭福祉員制度の拡充を図ります。</p> <p style="text-align: center;">大田区の保育サービス定員の推移 (各年4月1日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>大田区の保育サービス定員の推移 (各年4月1日)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>定員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年</td> <td>9,553</td> </tr> <tr> <td>22年</td> <td>9,970</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>10,511</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>10,938</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>11,322</td> </tr> <tr> <td>26年 (見込み)</td> <td>11,811</td> </tr> <tr> <td>27年 (見込み)</td> <td>12,141</td> </tr> </tbody> </table> <p>5年間で2,258人の増</p> <p>さらに330人増</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区立保育園の改築（六郷保育園） <span style="float: right;">3億7,272万円</span></li> <li>2 糺谷駅前地区再開発ビルに開設予定の保育園保留床購入 <span style="float: right;">5億4,001万円</span></li> <li>3 民間保育所開設支援 <span style="float: right;">14億190万円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)テナント型認可保育所新設助成（3施設）</li> <li>(2)保育所入所者運営費（拡充分）</li> <li>(3)民間保育所に対する法外援護（拡充分）</li> </ul> </li> <li>4 認証保育所開設支援 <span style="float: right;">1億1,621万円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)開設準備経費補助（2施設）</li> <li>(2)運営費補助（拡充分）</li> </ul> </li> <li>5 スマート保育（小規模保育所開設支援） <span style="float: right;">1億8,096万円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)開設準備経費補助（3施設）</li> <li>(2)運営費補助（拡充分）</li> </ul> </li> </ol>	年	定員数	平成21年	9,553	22年	9,970	23年	10,511	24年	10,938	25年	11,322	26年 (見込み)	11,811	27年 (見込み)	12,141
年	定員数																
平成21年	9,553																
22年	9,970																
23年	10,511																
24年	10,938																
25年	11,322																
26年 (見込み)	11,811																
27年 (見込み)	12,141																

- |   |                                      |          |
|---|--------------------------------------|----------|
| 6 | 定期利用保育事業<br>私立認可保育所における定期利用保育事業（拡充分） | 3,280 万円 |
| 7 | 家庭福祉員制度<br>家庭福祉員運営補助（拡充分）            | 2,643 万円 |




平成 25 年 11 月開所  
認証保育所





平成 25 年 11 月開所  
小規模保育所

<b>問合先</b>	担当課	
	(上記 1, 3(1), 4(1), 5(1))	こども家庭部 子育て支援課
	(その他)	こども家庭部 保育サービス課
	課長氏名	
(上記 1, 3(1), 4(1), 5(1))		
子育て支援課長・待機児担当副参事		
	市野 由香里	電話 5 7 4 4 - 1 2 7 1
(その他)	保育サービス課長 西野 正成	電話 5 7 4 4 - 1 2 7 6
担当者氏名		
(上記 1)	下青木 茂	電話 5 7 4 4 - 1 6 4 2
(上記 3~6)	七田 哉	電話 5 7 4 4 - 1 2 7 7
(上記 2, 7)	柴田 健一	電話 5 7 4 4 - 1 2 7 7


【5】子育て・教育（2）

<b>事業名</b>	 <b>国際理解教育の推進</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
<b>予算額</b>	<u>6,883万円</u>
<b>事業のねらい</b>	<p>日本や世界の文化・伝統を尊重するとともに、自信と誇りをもって、国際社会に貢献し、世界の人々から信頼され、尊重される子どもたちを育てます。</p>
<b>事業概要</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 外国語教育指導員の派遣 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立学校では、外国語教育指導員を全校に派遣し、外国語活動や英語の授業への意欲を高めコミュニケーション能力を育成しています。</li> <li>・平成26年度からは、小学校の年間派遣時数を、1クラスあたり22時間から25時間へ増やします。</li> </ul> </li>   <li>2 国際理解教育推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際都市おおたを標榜する本区において、未来を担うグローバル人材の育成における教育施策の方向性を検討します。</li> <li>・効果的な外国語活動・英語学習の在り方について検討します。</li> </ul> </li>   <li>3 英語カフェ <ul style="list-style-type: none"> <li>・全区立学校に、外国語教育指導員と英語のみでのコミュニケーションを楽しむことのできる時間や場を設定します。</li> <li>・児童・生徒は、外国語活動・英語の授業で学んだ内容を実践的に活用することができます。</li> <li>・外国語教育指導員が配置された日に実施します。</li> </ul> </li> </ol>
<b>問合せ先</b>	<b>担当課</b> 教育総務部    指導課
	<b>課長氏名</b> 菅野 哲郎      電話    5 7 4 4 - 1 4 3 4
	<b>担当者氏名</b> 佐藤 公信      電話    5 7 4 4 - 1 4 3 5

<b>事業名</b>	 <b>大田区立伊豆高原学園の改築</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>																										
<b>予算額</b>	<b>24億7,869万円</b>																										
<b>事業のねらい</b>	<p>区立小学校の5年生が2泊3日の体験学習を行う宿泊施設である伊豆高原学園は、老朽化に伴い平成27年4月のオープンを目指し、PFI事業方式による改築を進めています。</p> <p>改築にあたっては教育施設としての充実を図るとともに、学校が利用しない金・土・日曜、夏休み期間、年末年始、12月から4月中旬までは、新たに区民も利用できる宿泊施設として活用します。</p>																										
<b>事業概要</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所在地：静岡県伊東市八幡野 1154 番地の 3（伊豆急行線伊豆高原駅から徒歩8分）</li> <li>2 幅広い世代、グループが満足できる宿泊施設             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）通常の宿泊室に加えて、合宿や研修旅行で便利な22人まで宿泊できる大部屋。露天風呂付きの温泉、地元産の食材を活かした料理。</li> <li>（2）体育室を備えたビジターセンター、芝生のスポーツ広場、創作棟、天文台など活動施設を充実。</li> <li>（3）富士箱根伊豆国立公園に立地。豊かな自然環境。</li> </ol> </li> <li>3 バリアフリーに配慮：段差のない移動経路。車椅子で利用可能な宿泊室、温泉など。</li> <li>4 環境への配慮：自然の地形や豊富な樹木を活かした設計。高断熱複層ガラスやLED照明を全館で採用など。</li> <li>5 防災面の強化：非常用発電機の設置など、万一災害でライフラインが遮断した場合の代替手段を確保。</li> </ol> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>【主な施設の配置】</b> </div>  <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr><td style="background-color: #f4a460;">1</td><td>管理棟</td></tr> <tr><td style="background-color: #f4a460;">2</td><td>宿泊棟(2棟)</td></tr> <tr><td style="background-color: #f4a460;">3</td><td>ビジターセンター</td></tr> <tr><td style="background-color: #f4a460;">4</td><td>創作棟</td></tr> <tr><td style="background-color: #f4a460;">5</td><td>天文台</td></tr> </table> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">A</td><td>センター広場</td></tr> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">B</td><td>スポーツ広場</td></tr> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">C</td><td>桜の広場</td></tr> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">D</td><td>星見の丘</td></tr> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">E</td><td>集いの広場</td></tr> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">F</td><td>食の広場</td></tr> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">G</td><td>体験広場</td></tr> <tr><td style="background-color: #4a90e2; color: white;">H</td><td>散策のプロムナード</td></tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">●●●●● 園内散策路</p>	1	管理棟	2	宿泊棟(2棟)	3	ビジターセンター	4	創作棟	5	天文台	A	センター広場	B	スポーツ広場	C	桜の広場	D	星見の丘	E	集いの広場	F	食の広場	G	体験広場	H	散策のプロムナード
1	管理棟																										
2	宿泊棟(2棟)																										
3	ビジターセンター																										
4	創作棟																										
5	天文台																										
A	センター広場																										
B	スポーツ広場																										
C	桜の広場																										
D	星見の丘																										
E	集いの広場																										
F	食の広場																										
G	体験広場																										
H	散策のプロムナード																										
<b>問合せ先</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td>教育総務部 学務課</td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>教育施設担当副参事 下遠野 茂 電話 5744-1705</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>土屋 雅一 電話 5744-1706</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	教育総務部 学務課	<b>課長氏名</b>	教育施設担当副参事 下遠野 茂 電話 5744-1705	<b>担当者氏名</b>	土屋 雅一 電話 5744-1706																				
<b>担当課</b>	教育総務部 学務課																										
<b>課長氏名</b>	教育施設担当副参事 下遠野 茂 電話 5744-1705																										
<b>担当者氏名</b>	土屋 雅一 電話 5744-1706																										



## 【5】子育て・教育（4）

事業名	 <b>(仮称)フレンドリー嶺町の新規開設</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<b>377万円</b>
事業のねらい	<p>放課後の安全な居場所づくりを進めるため、小学校を活用した学童保育「フレンドリーおおた事業」を拡充します。嶺町小学校の改築に伴い、（仮称）フレンドリー嶺町を新たに開設します。安全かつ安心して過ごすことができる環境を整備し、子どもたちの健全な育成を図ります。</p>
事業概要	<p>1 開設</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)時期 平成 27 年 4 月開設（予定）</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)場所 嶺町小学校内(田園調布南 6 番 10 号)</p> <p>2 事業内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)学童保育 通常利用、夏休み利用、一時利用、延長保育</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)最大受入れ数 50 名（予定）</p>
問合先	担当課      こども家庭部    子育て支援課
	課長氏名    市野 由香里      電話 5 7 4 4 - 1 2 7 1
	担当者氏名 南雲 和代      電話 5 7 4 4 - 1 6 0 9


【5】子育て・教育（5）


<p><b>事業名</b></p>	<p>計画的な小中学校校舎改築</p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>14億956万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>校舎の老朽化等に対応するため校舎を改築します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 嶺町小学校の改築 7億7,977万円          (1) 施設の概要 所在地 田園調布南6番10号          (2) スケジュール概要(予定)          平成23～27年度 工事          平成27年度 竣工</p> <p>2 東六郷小学校の改築 7,539万円          (1) 施設の概要 所在地 東六郷二丁目3番1号          (2) スケジュール概要(予定)          平成26～30年度 工事          平成30年度 竣工</p> <p>3 志茂田小学校・志茂田中学校の改築 5億1,521万円          (1) 施設の概要 志茂田小学校 所在地 西六郷一丁目4番2号          (おおたっ子ひろば併設)          志茂田中学校 所在地 西六郷一丁目4番10号          (新蒲田福祉センター併設)          (2) スケジュール概要(予定)          平成24～26年度 基本計画、基本・実施設計          (小学校)          平成28～30年度 工事          平成30年度 竣工          (中学校)          平成26～28年度 工事          平成28年度 竣工</p> <p>4 大森第四小学校の改築 3,918万円          (1) 施設の概要 所在地 大森南三丁目18番26号          (2) スケジュール概要(予定)          平成26～28年度 基本構想、基本計画、基本・実施設計</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 教育総務部 教育総務課          課長氏名 教育施設担当副参事          下遠野 茂 電話 5744-1705          担当者氏名 徳留 申夫 電話 5744-1399</p>


【5】子育て・教育（6）

<p><b>事業名</b></p>	<p>食物アレルギー対応用の食器およびトレイの購入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>												
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>542万円</b></p>												
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>食物アレルギーの児童・生徒に提供するアレルゲン除去食を明確に識別できるように、専用の食器及びトレイを導入することで、配膳ミスを防ぎ、安全・安心な給食の提供をさらに徹底します。</p>												
<p><b>事業概要</b></p>	<p>食物アレルギー対応用の食器およびトレイの購入</p> <p>大田区教育委員会では、年々増加している食物アレルギーの児童・生徒に安全な給食を確実に提供し、緊急時には迅速、適切に対処できるよう「食物アレルギー対応基本方針」を平成25年8月に定め、対応の強化・徹底を図りました。</p> <p>その一環として、食物アレルギーの児童・生徒に提供するアレルゲン除去食を明確に識別できるように、専用の食器及びトレイを導入することで、配膳ミスを防ぎ、安全・安心な給食の提供をさらに徹底します。</p> <p>大田区の児童・生徒数（平成25年5月1日現在）</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: right;">28,147人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: right;">11,054人</td> </tr> <tr> <td>小・中学校合計</td> <td style="text-align: right;">39,201人</td> </tr> </table> <p>食物アレルギーの児童・生徒数（平成25年5月1日現在）</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: right;">765人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: right;">217人</td> </tr> <tr> <td>小・中学校合計</td> <td style="text-align: right;">982人</td> </tr> </table>	小学校	28,147人	中学校	11,054人	小・中学校合計	39,201人	小学校	765人	中学校	217人	小・中学校合計	982人
小学校	28,147人												
中学校	11,054人												
小・中学校合計	39,201人												
小学校	765人												
中学校	217人												
小・中学校合計	982人												
<p><b>問合せ先</b></p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>担当課</b></td> <td style="width: 35%;">教育総務部</td> <td style="width: 15%;">学務課</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td><b>課長氏名</b></td> <td>水井 靖</td> <td><b>電話</b></td> <td>5744-1426</td> </tr> <tr> <td><b>担当者氏名</b></td> <td>玉田 和美</td> <td><b>電話</b></td> <td>5744-1431</td> </tr> </table>	<b>担当課</b>	教育総務部	学務課		<b>課長氏名</b>	水井 靖	<b>電話</b>	5744-1426	<b>担当者氏名</b>	玉田 和美	<b>電話</b>	5744-1431
<b>担当課</b>	教育総務部	学務課											
<b>課長氏名</b>	水井 靖	<b>電話</b>	5744-1426										
<b>担当者氏名</b>	玉田 和美	<b>電話</b>	5744-1431										

【5】子育て・教育（7）

<b>事業名</b>	 スクールソーシャルワーカーの雇用 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
<b>予算額</b>	<b>807万円</b>
<b>事業のねらい</b>	<p>現在、学校現場においては「いじめ」「不登校」「暴力行為」「虐待」等様々な生活指導上の課題が発生し、学校だけでは解決が困難な状況があります。</p> <p>課題が家庭環境に起因するケースも多く、スクールソーシャルワーカーを雇用することにより、児童・生徒が置かれた様々な環境に働きかけ、関係機関とのネットワークを構築し、児童・生徒、保護者及び教員に対する支援や相談体制を整備します。</p>
<b>事業概要</b>	<p>1 スクールソーシャルワーカーの雇用                  社会福祉士又は精神保健福祉士の有資格者で、教育・児童福祉分野での経験者を2名、教育センターの非常勤職員として雇用します。</p> <p>2 職務内容                  (1) 問題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけ                  (2) 関係機関等とのネットワークの構築・連携・調整                  (3) 学校における相談体制の構築・支援                  (4) 保護者・教職員等に対する支援・情報提供</p> <p>3 活動内容                  教育センターの教育相談員と学校を定期的に訪問したり学校からの派遣要請に基づき訪問を行い、ケース会議を設定する等、支援体制を構築するキーマンとして活動します。</p>
<b>問合先</b>	担当課      教育総務部    教育センター
	課長氏名    菅   三男                      電話    3 7 5 2 - 2 2 1 2
	担当者氏名   老川   万里子                  電話    5 7 4 8 - 0 8 0 1

事業名	 <b>体力向上の推進</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
予算額	<b>239万円</b>
事業のねらい	<p>子どもたちの身体活動量を高めて意欲や気力のもととなる総合的な体力を育みます。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小学生駅伝大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の体力向上の取組の成果を発表する場、スポーツ振興及び児童の交流の場として、小学生駅伝大会を実施いたします。</li> <li>・平成 24・25 年度は 30 校ずつ参加していた大会を平成 26 年度は 60 校の全校参加とし、スポーツ健康都市である大田区の体力向上ムーブメントにつなげます。</li> </ul> </li>   <li>2 体力向上推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力について専門的に研究している学識者を委員として組織し、科学的な根拠に基づいた大田区で有効な総合的な体力向上施策を検討し、実施します。</li> </ul> </li>   <li>3 体育・健康教育授業地区公開講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区教育研究推進校として「体力向上モデル校」を指定し、体育・健康教育の授業公開や体力調査結果に基づく体力向上の取り組みについて研究発表等を行います。</li> <li>・体力向上の重要性や必要性等をテーマにした講演会を実施し、保護者や地域の方にも理解いただけるようにします。</li> <li>・体力向上をテーマに、教員と保護者、地域の方による意見交換会を実施し、実践につなげられる具体策について話し合います。</li> </ul> </li> </ol>
問合せ先	<b>担当課</b> <b>教育総務部 指導課</b>
	<b>課長氏名</b> <b>菅野 哲郎</b> <b>電話</b> <b>5 7 4 4 - 1 4 3 4</b>
	<b>担当者氏名</b> <b>小林 繁</b> <b>電話</b> <b>5 7 4 4 - 1 4 3 5</b>

事業名	 （仮称）障がい者総合サポートセンターの開設								
予算額	<u>10億2,899万円</u>								
事業のねらい	障がいのある人の生活を総合的にサポートする「拠点」として相談支援や就労支援、地域交流支援等の機能を設置し、障がい者（児）の地域における自立した生活を支援します。平成27年1月末竣工、3月に開設予定です。								
事業概要	<p>1 施設概要 大田区中央四丁目30番 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階</p> <p>2 フロア概要</p> <p>1階：相談室、喫茶コーナー等</p> <p>2階：訓練室、障がい関連情報コーナー等</p> <p>3階：声の図書館、集会室等</p> <p>4階：障害者就労支援センター</p> <p>5階：多目的室</p> <p>地下：機械室、倉庫等</p> <p>3 事業概要 運営は区の直営とし、業務の一部を民間事業者へ委託します。</p> <p>(1)相談支援部門（業務委託） 一般相談、専門相談、連携拠点事業により、充実した相談支援を実施します。</p> <p>(2)地域交流支援部門（業務委託） 障がい関連情報コーナー、声の図書館、貸館事業等により、障がいのある人もない人も、集い、交流し、障がい福祉への理解を進め、ささえあいの拠点としていきます。</p> <p>(3)就労支援部門（業務委託） 障害者就労支援センターを移転し、機能の強化を図ります。</p> <p>(4)居住支援部門（業務委託） 自立訓練（機能訓練・生活訓練）事業を実施し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します。</p> <p>(5)管理運営部門（区直営） 各部門の総合調整や関係機関との連携調整を図ります。</p> <p>4 予算概要</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>（仮称）障がい者総合サポートセンター管理運営費</td> <td style="text-align: right;">8,687万円</td> </tr> <tr> <td>（内訳）施設管理費 618万円、事業運営費</td> <td style="text-align: right;">8,069万円</td> </tr> <tr> <td>（仮称）障がい者総合サポートセンターの建設</td> <td style="text-align: right;">9億4,212万円</td> </tr> <tr> <td>（内訳）建設工事等 8億6,550万円、物品購入等</td> <td style="text-align: right;">7,662万円</td> </tr> </table>	（仮称）障がい者総合サポートセンター管理運営費	8,687万円	（内訳）施設管理費 618万円、事業運営費	8,069万円	（仮称）障がい者総合サポートセンターの建設	9億4,212万円	（内訳）建設工事等 8億6,550万円、物品購入等	7,662万円
（仮称）障がい者総合サポートセンター管理運営費	8,687万円								
（内訳）施設管理費 618万円、事業運営費	8,069万円								
（仮称）障がい者総合サポートセンターの建設	9億4,212万円								
（内訳）建設工事等 8億6,550万円、物品購入等	7,662万円								
問合先	担当課 福祉部 障害福祉課								
	課長氏名 今岡 正道 電話 5744-1249								
	担当者氏名 斉藤 緑美 電話 5744-1715								

【6】健康・福祉・医療（2）

<p><b>事業名</b></p>	<p>特別養護老人ホームの整備支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>															
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>1億8,255万円</u></p>															
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>在宅生活が困難になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、高齢者の住まいとなる特別養護老人ホームを整備するため、民間事業者の施設整備を支援します。</p>															
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 整備概要</p> <p>(1) (仮称) 馬込</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地 西馬込二丁目</li> <li>・定員 特別養護老人ホーム 30床、ショートステイ 5床</li> <li>・開設 平成27年7月予定</li> </ul> <p>(2) (仮称) 大森西 (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地 大森西四丁目</li> <li>・定員 特別養護老人ホーム 84床、ショートステイ 12床</li> <li>・開設 平成28年5月予定</li> </ul> <p>(3) (仮称) 萩中 (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地 萩中二丁目</li> <li>・定員 特別養護老人ホーム 81床、ショートステイ 9床</li> <li>・開設 平成28年4月予定</li> </ul> <p>2 区支援額</p> <p>施設整備費補助（補助金は年度の進捗率に応じた額）</p> <p>(1) 26年度</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">馬込</td> <td style="width: 35%;">1億81万円</td> <td style="width: 50%;">(進捗率 99%)</td> </tr> <tr> <td>大森西</td> <td>1,415万円</td> <td>(進捗率 5%)</td> </tr> <tr> <td>萩中</td> <td>6,759万円</td> <td>(進捗率 25%)</td> </tr> </table> <p>(2) 27年度</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">大森西</td> <td style="width: 35%;">2億6,893万円</td> <td style="width: 50%;">(進捗率 95%)</td> </tr> <tr> <td>萩中</td> <td>2億277万円</td> <td>(進捗率 75%)</td> </tr> </table>	馬込	1億81万円	(進捗率 99%)	大森西	1,415万円	(進捗率 5%)	萩中	6,759万円	(進捗率 25%)	大森西	2億6,893万円	(進捗率 95%)	萩中	2億277万円	(進捗率 75%)
馬込	1億81万円	(進捗率 99%)														
大森西	1,415万円	(進捗率 5%)														
萩中	6,759万円	(進捗率 25%)														
大森西	2億6,893万円	(進捗率 95%)														
萩中	2億277万円	(進捗率 75%)														
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 福祉部 介護保険課</p>															
	<p>課長氏名 澤 富男 電話 5744-1266</p>															
	<p>担当者氏名 廣田 佳子 電話 5744-1637</p>															


【6】健康・福祉・医療（3）

<p><b>事業名</b></p>	<p>老人保健施設の整備支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><u>1,290万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>高齢者が在宅生活に復帰できるよう看護、医学的管理下での介護、機能訓練、日常生活のお世話を行う介護老人保健施設を整備するため、民間事業者の施設整備を支援します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 整備概要(予定)                  (仮称) 大森西                  ・計画地 大森西四丁目                  ・定員 老人保健施設 120 床                  ・開設 平成 28 年 5 月</p> <p>2 区支援額                  施設整備費補助（補助金は年度の進ちよく率に応じた額）                  (1) 26 年度 大森西 1,290 万円（進ちよく率 5%）                  (2) 27 年度 大森西 2 億 4,510 万円（進ちよく率 95%）</p>
<p><b>問合先</b></p>	<p>担当課 福祉部 介護保険課</p>
	<p>課長氏名 澤 富男 電話 5 7 4 4 - 1 2 6 6</p>
	<p>担当者氏名 廣田 佳子 電話 5 7 4 4 - 1 6 3 7</p>



【6】健康・福祉・医療（4）

<p><b>事業名</b></p>	<p>☺☺☺ 介護予防事業の充実 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>377万円</b></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>「寝たきりゼロ」を目標に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、いきいきと暮らし続けることができるよう、介護予防事業を充実させてまいります。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>将来的な要介護認定のリスクが高いといわれる「膝痛を抱えている方」や「物忘れ等の気になる方」に対し、それぞれ適した運動を習慣化していただくことで、高齢者が、地域でいきいきと暮らせるよう支援します。</p> <p>また、介護予防ポイント制度シニアボランティア事業を特別養護老人ホームの他に在宅高齢者サービスセンターにも拡大していきます。</p> <p>1 膝痛・腰痛ストップ体操の開始 <span style="float: right;">39万円</span>          毎月1回、定期的に自宅でも行える膝痛や腰痛に効果が見込める「膝痛・腰痛ストップ体操」事業を六郷地域力推進センター等、2か所で開始します。</p> <p>2 認知症予防室内ウォークの開始 <span style="float: right;">44万円</span>          有酸素運動を行いながら頭を使うことで、より効果的に認知症予防を進めるため、大田文化の森や区民プラザ等、4か所で「認知症予防室内ウォーク」事業を開始します。</p> <p>3 認知症予防体操の拡充 <span style="float: right;">186万円</span>          毎月1回、定期的に個人でもできる有酸素運動を取り入れた「認知症予防体操(フリフリグッパ体操)」事業を山王高齢者センターに加え、六郷地域力推進センター等、3か所に拡充して実施します。</p> <p>4 介護予防ポイント制度の拡充 <span style="float: right;">108万円</span>          平成25年度モデル事業として特別養護老人ホームで開始した「介護予防ポイント制度シニアボランティア」事業を在宅高齢者サービスセンターにも拡大して実施します。</p>
<p><b>問合先</b></p>	<p>担当課 福祉部 介護保険課</p> <hr/> <p>課長氏名 澤 富男 電話 5744-1266</p> <hr/> <p>担当者氏名 高橋 浩 電話 5744-1624</p>

事業名	 <p style="text-align: center;">熱中症予防事業</p>
予算額	<b>274万円</b>
事業のねらい	<p>高齢者見守りネットワーク事業の重点事業のひとつとして、高齢者を熱中症から守る対策を実施し、熱中症の注意喚起を行うとともに、見守り体制の推進を図ります。</p> <p>また、区民生活に密接な区施設を開放し、「涼み処」として熱中症から区民を守る対策を行います。</p>
事業概要	<p>1 高齢者見守り強化策としての熱中症予防事業</p> <p>地域社会からの孤立化を防ぐために取り組んでいる高齢者見守りネットワーク事業では、地域との連携による見守り体制の構築に努めています。</p> <p>この取り組みをさらに強化するとともに、構築されたネットワークを活用して、熱中症発症リスクの高い高齢者に対する予防事業を展開します。</p> <p>事業は、次の3つの取り組みを連動させて効果的に実施します。</p> <p>(1) 戸別訪問 <span style="float: right;">220万円</span></p> <p>区職員、さわやかサポート（地域包括支援センター）職員に加え、民生委員の協力も得て、ひとり暮らし高齢者を中心に戸別訪問を行います。</p> <p>経口補水液などの熱中症予防に資する具体的なツールを活用することで高齢者の関心を惹きつけ、熱中症予防に関する情報提供や指導等を行い、ひとり暮らし高齢者等に対して行政や地域社会と接する機会を設けて、自宅での閉じこもり防止につなげていきます。</p> <p>(2) セミナー開催 <span style="float: right;">41万円</span></p> <p>老人いこいの家（21か所）などを利用して、地域住民を対象とした熱中症予防と孤立化防止に関するセミナーを開催します。</p> <p>夏季に関心の高まる熱中症予防をテーマにすることで、老人いこいの家への来所を促すとともに、来所者同士の交流機会としても捉えて、見守り機運の醸成を図ります。</p> <p>(3) クールスポット設置</p> <p>老人いこいの家を街なかの「涼み処」とし、高齢者の買い物や外出時の休憩場所として利用してもらいます。</p> <p>休みながら近所の方同士でおしゃべり等してもらうことで、何気ない交流から、孤立化を防止します。</p>

	<p>2 地域の涼み処としての熱中症予防事業</p> <p>特別出張所、文化センター、区民センターのロビー等を「気軽に立ち寄り、涼める休憩場所」とし、高齢者など区民が安心して涼める場「涼み処」とします。</p> <p>来庁者が涼みながら楽しめるように、地域の歴史や伝統文化に関連した書籍や地域のイベント等のチラシを置くなどして、さまざまな情報提供を行い、区民により身近な施設としての地域情報等の発信強化を目指します。</p> <p>また、特別出張所ではデジタルサイネージによる放映を視聴していただき、区政情報をより多くの方に発信できる大きな機会としていきます。</p> <p>さらには、多くの区民の方が来庁し、集うことによる「交流」の場とし、大田区の地域力の向上につながるような機会とします。</p> <p>のぼり旗購入 13 万円</p>
<b>問合せ先</b>	<p><b>担当課</b></p> <p>(上記 1) 福祉部 高齢福祉課</p> <p>(上記 2) 地域振興部 地域振興課</p>
	<p><b>課長氏名</b></p> <p>(上記 1) 篠塚 えみ子 電話 5 7 4 4 - 1 2 5 5</p> <p>(上記 2) 木田 早苗 電話 5 7 4 4 - 1 2 2 1</p>
	<p><b>担当者氏名</b></p> <p>(上記 1) 内山 猛 電話 5 7 4 4 - 1 2 6 8</p> <p>(上記 2) 山浦 賢一 電話 5 7 4 4 - 1 2 2 2</p>


【6】健康・福祉・医療（6）

<p><b>事業名</b></p>	<p>就労意欲喚起事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span></p>
<p><b>予算額</b></p>	<p><u>5,082万円</u></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>稼働年齢層の生活保護受給者の自立を図るため、生活保護受給者の多様な課題に対応する支援プログラムを整備し、日常生活自立、社会生活自立、就労自立（経済的自立）など、支援対象者の各段階に応じた自立を促します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>1 就労意欲喚起事業（4プログラム）</p> <p>（1）日常生活支援プログラム 日常生活において自立した生活を送るための生活リズムの改善や健康の回復・維持など、自身の生活管理を行う支援を行います。 ・訪問支援 ・来所相談 ・カウンセリング ・交流サロン等</p> <p>（2）社会生活支援プログラム 社会的な繋がりを回復・維持し、地域社会の一員として充実した生活を送るための支援を行います。 ・社会参加(ボランティア)体験 ・コミュニケーションセミナー等</p> <p>（3）就労意欲喚起プログラム 就労のための意欲を喚起し、就労支援プログラムに繋げるための支援を行います。 ・職業準備セミナー ・グループワーク ・就労体験等</p> <p>（4）就労支援プログラム 早期就労のための支援を行います。 ・キャリアカウンセリング ・求人開拓 ・求職活動同行等</p> <p>なお、支援にあたっては、本人の希望・経歴・状況等を踏まえ、必要なメニューを各プログラムから選択し、支援計画を作成し実施します。</p> <p>2 事業委託 国のセーフティネット支援対策等事業費補助金を利用し、民間事業者の専門性を活用した業務委託により実施します。</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>担当課 福祉部 蒲田生活福祉課</p> <hr/> <p>課長氏名 福本 英也 電話 5713-1114</p> <hr/> <p>担当者氏名 小田 守宏 電話 5713-1500</p>

<p><b>事業名</b></p>	<p>  <b>スポーツ健康都市宣言記念事業</b>                  (仮称)「おおたスポーツ健康フェスタ」の開催 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span> </p>
<p><b>予算額</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>454万円</b></p>
<p><b>事業のねらい</b></p>	<p>スポーツ健康都市宣言記念事業として、誰もが気軽に参加できる健康やスポーツに関するプログラムを用意し、健康と体力づくりに対する理解と関心を高めることを目的に開催します。</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>平成24年6月30日に行った「スポーツ健康都市宣言」を記念し、宣言と同日に開館した大田区総合体育館を会場に、あらゆる世代が参加し楽しむことができ、健康とスポーツへの関心を高めていく場となるイベントを実施します。</p> <p>【主な内容(予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりイベント</li> <li>・トップアスリートによるスポーツクリニック、模範演技</li> <li>・スポーツ体験教室</li> <li>・地域スポーツクラブのプログラム体験</li> </ul> <p>【イメージ】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>                 担当課 <b>教育総務部 社会教育課</b>                  課長氏名 <b>スポーツ推進担当課長</b>                                    <b>梅崎 修二</b>      電話 <b>5744-1458</b>                  担当者氏名 <b>牧井 正幸</b>      電話 <b>5744-1441</b> </p>

事業名	在宅医療連携推進事業
予算額	1,000万円
事業のねらい	<p>高齢者人口が増加していく中で、限りある医療資源を有効に活用し、区民に適切な医療サービスを提供するため、在宅療養の仕組みづくりを進めます。</p>
事業概要	<p>在宅医療連携推進事業の実施</p> <p>病院を退院する患者を円滑に在宅医療に移行させるため、病院、在宅医療を行う診療所、訪問看護ステーションや各種介護資源との間に入り連携・調整を行う「在宅医療連携調整窓口」を、区内医師会(大森、田園調布、蒲田)に設置し、区は医師会に対して、窓口運営の経費について一部を補助します。</p> <p>窓口では、病院から在宅への流れだけでなく、病状の変化に伴う在宅から病院へ、再び在宅への流れに関しても、連携・調整を行います。</p> <p>区市町村が主体となり推進することが求められている「地域包括ケアシステム」の構築に関しては、「在宅医療連携調整窓口」などの機能を最大限活用し、実現してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この事業は、医師会が事業主体となり、平成22年度に東京都のモデル事業として開始され、23年度以降、区が事業費の一部を補助しています。</li> <li>●区内の在宅医療及び介護関係者が集まり、22年7月に「大田区在宅医療連携推進協議会」が発足しました。これは、在宅医療の課題を話し合い、関係者の連携を深める場として機能しています。</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>相談件数 平成23年度 364件 平成24年度 502件</p>
問合先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 鈴木 慶三 電話 5744-1261
	担当者氏名 濱田 勉 電話 5744-1264

【6】健康・福祉・医療（9）

<b>事業名</b>	 <b>糀谷駅前地区再開発ビルの保留床の購入</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>
<b>予算額</b>	<b>270万円</b>
<b>事業のねらい</b>	<p>糀谷駅前地区第一種市街地再開発事業において建築する再開発ビル内の公益施設の一つとして、高齢者支援施設を整備し、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりをめざします。</p>
<b>事業概要</b>	<p>1 再開発事業の概要</p> <p>京浜急行線連続立体交差事業を契機として、糀谷駅前の木造建築物が密集した地区を第一種市街地再開発事業により、ビル2棟、駅前広場等を整備するものです。新たに建設する再開発ビルには、住宅、店舗、事務所が入居するほか、区がビルの床の一部を購入し、公益施設として、子育て支援施設、高齢者支援施設（プレシニアの地域活動拠点）、公共自転車駐車場等を整備します。</p> <p style="padding-left: 20px;">公益施設総面積：約 3,140 m<sup>2</sup> 公益施設購入総額見込み：約 15 億 2,600 万円（権利変換分を除く。）</p> <p>2 高齢者支援施設に係る経費の内訳</p> <p style="padding-left: 20px;">土地購入費 270 万円（平成 26 年度分。権利変換分を除く。）</p> <p>3 設置施設の方向性</p> <p style="padding-left: 20px;">「プレシニア」と位置づけられる 60 歳代を中心とした方や、行動範囲の広い「団塊の世代」の方等に対し、活力ある高齢期を過ごすための生きがいづくり・地域活動の拠点として整備します。</p> <p>4 設置の趣旨</p> <p style="padding-left: 20px;">退職など人生の転換期を迎えたプレシニアの方に、これからの長い高齢期をいきいきと過ごしていただくため、また、高齢者が高齢者を支えることが求められる少子高齢社会において地域の担い手となっていただくため、就労・地域貢献活動・生涯学習等に関する講座等を通じさまざまな活動の選択肢や場、仲間づくりのきっかけなどを提供し、新たな生きがいや活動のノウハウを身に付けていただく、スタート拠点とすることをめざします。</p>
<b>問合せ先</b>	<b>担当課</b> 福祉部 高齢福祉課
	<b>課長氏名</b> 篠塚 えみ子 <b>電話</b> 5 7 4 4 - 1 2 5 5
	<b>担当者氏名</b> 富田 亜紀子 <b>電話</b> 5 7 4 4 - 1 4 4 9